

令和 5 年 6 月 26 日現在

機関番号：33910

研究種目：基盤研究(A) (海外学術調査)

研究期間：2017～2020

課題番号：17H01639

研究課題名(和文) アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態分析 「近代世界システム」との相克

研究課題名(英文) Modern dynamic analysis in Afro Eurasia's Dry inland Civiliaations -Conflict with "modern world system"-

研究代表者

嶋田 義仁 (SHIMADA, Yoshihito)

中部大学・中部高等学術研究所・客員教授

研究者番号：20170954

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 33,200,000円

研究成果の概要(和文)：近代文明史は人類文明のアフロ・ユーラシア内陸乾燥地中心から西洋中心海洋文明中心への移動であった。西洋中心近代世界システム拡大には地域差があった：アフリカ90%、中東50%、中国20%。今日抵抗はさらに進んだ。社会主義中国は一帶一路政策で新グローバル文明構築を目指す。アフリカのアフリカ連合形成は近代ネイション国家を植民地主義国家としてアフリカ合衆国構築を期す。イスラーム主義拡大も近代国家体制をゆるがす。中東では旧帝国のトルコとイランの政治力、湾岸諸国の経済力が強化され、ISはイスラーム主義思想を拡散した。ウクライナ戦争と中国国内統治危機をはらみつつ、21世紀は新グローバル文明構築時代となった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

Afro-Eurasia was studied as a world of battles between two types of global civilization, old Dryland and new European Ocean ones. Three types of regional battle, Africa, Middle East and China, were analyzed. This is a new contri-bution for the systematic analysis of the actual Afro-Eurasian world.

研究成果の概要(英文)：Modern history consists in the transformation of the center of civilization form Afro Eurasian inner dryland to European dominating ocean world, formation of Modern World System. The conquest was not completed: 90% in Africa, 50% in Middle East, 20% in China. Now, Africa Union with the aim of the United States of Africa wants to reset its nation state system established on European colonialism; growing Islamist conflict challenges it also. In Middle East, Turkish power as mediator of the Ukrainian war and Iran, reconciliated with Saudi, became important. IS revolt distributed new message for Islamism. Gulf countries became strong in modern economic power. Socialist China builds a new global system with 'One Belt, One Road Initiative', construction of old Silk Road Belt and new Maritime Silk Road. China suffers of inner ethnic conflicts because of political system too centralist to accept regional diversity. Afro-Eurasia world is now on the 3rd global civilization formation process.

研究分野：文化人類学

キーワード：近代システム アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明 一帶一路 イスラーム 牧畜文化 西洋海洋文明
アフリカ国民国家再構築 アフリカ連合

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明を課題とするこれまで 2 回の科研費研究によって、次のことを明らかにしてきた。

牧畜パワーは近代以前の最重要エネルギーであり、これに支えられ、オアシス文化や穀物農業文化、長距離交易文化、巨大帝国・都市文化が結びついたアフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明が人類文明史の中心にあった。しかし近代人類史は、西洋の海洋進出によって成立した海洋中心近代世界システム(ウォーラステイン)が、内陸乾燥地文明システムを破壊し、世界の中心システム化してゆく過程であった。これは世界システム史の大変換であり、その動乱が現在に至るまで続いている。

しかし近代世界システム論ではこのことが十分認識されていない。アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の存在が認知できていないからである。そのため、近代世界システムが 21 世紀の地球文明を支配するグローバル文明になると考えられ、アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明に起因する抵抗は、破壊的暴力的抵抗にすぎないとみなされた。それゆえ、アフリカにおける動乱、中東問題、中国問題、ロシア問題などがばらばらにしか考察されず、アフロ・ユーラシア大陸全体の歴史動態の統一的理解がうしなわれていた

2. 研究の目的

アフロ・ユーラシア大陸の近代動態を、アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明が西洋海洋文明中心の近代システムへと、人類文明を転換させようとする文明史プロセスとして理解する。しかしこのプロセスには、3 類型の地域差があった。

アフリカ文明類型 近代世界システム支配度 90%

中東類型 近代世界システム支配度 50%

中国類型 近代世界システム支配度 20%

理由は、アフリカはエチオピアを除き全体が植民地化され、独立後の近代ネーション国家も植民地体制に依拠したネオ・コロニアル国家となったからだ。ただし北アフリカ、サハラ・サヘル、スワヒリ地域には、イスラーム文明が存続した。

中東にはオスマン帝国ペルシャ帝国という巨大イスラーム帝国が存在し、ヨーロッパ列強による征服は困難をきわめ、植民地支配は短期にとどまり、オスマン帝国はトルコとなって独立を維持した。他方、サウジアラビアには聖地メッカがあり、イスラーム中心地としての威光を保つ。さらに世界最大の石油パワーがあった。

中国は、大陸国家を支配する巨大帝国清朝が存在したがゆえに、国土の 20%をのぞき、独立を維持した。政府は清朝、中華民国、社会主義中国と変化した。社会主義中国時代にとりわけ強固な独立国家となった。

研究の目的は、このようなアフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明と西洋海洋文明中心の近代世界システムの相克を、以上の 3 地域にわけて分析し、現代動態において確認したいのは近代世界システムではなく、これに抗する旧アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明地域の復興再開発であり、これが、近代世界システムと融合しあいながら、第三の新グローバル文明形成がすすんでいることである。

3. 研究の方法

(1) 地域別研究分担

- ・アフリカ：嶋田義仁、石山俊(サハラ)、古澤礼太(ギニア湾沿岸文化)、中村亮(スワヒリ文化・スーダン紅海文化)、ウスビ・サコ(マリ)、ナフェ・ケイタ(海外共同研究者：マリ)、サイブ・ナスル(海外共同研究者：カメルーン)
- ・中東・中央アジア：縄田浩志(スーダン・サウジアラビア)、中山紀子・和崎聖日(中央アジア)
- ・中国：大野旭、児玉香菜子、ブレンサイン、包海岩・曹栄梅(海外共同研究者)、中川原育子

(2) 内陸乾燥地文明における近代変容

- ・家畜文化の変容：坂田隆（ラクダ文化）、平田昌弘（乳文化の変容）、縄田浩志（ラクダ文化）、嶋田義仁（牧畜民）、ブレンサイ ン・児玉香菜子（定住化と農牧複合、生態移民）
- ・石山俊（オアシス文化の変容）
- ・宗教文化の変容：嶋田義仁（イスラーム文化）、中村亮（スワヒリ文化）、中川原育子（宗教芸術）、和崎聖日（宗教文化）

(3) 紛争・内戦、開発政策の分析

- ・大野旭・和崎聖日・ブレンサイン（中国、中央アジア）
- ・縄田浩志・中村亮・中山紀子（中東）
- ・嶋田義仁・石山俊・サコ（サハラ・サーヘル）、古澤礼太（ギニア湾岸）

(4) . 文献研究：鷹木恵子『チュニジア革命と民主化』、嶋田義仁（『砂漠と文明』岩波書店、『黒アフリカ・イスラーム文明論』創成社、「サハラの政治人類学」『情況』）、ウォーラステイン『近代世界システム』全4巻 名古屋大学出版会、ハンティントン『文明の衝突』、大野旭（『墓標なき草原』（上・下）、『内モンゴルにおける文化大革命・虐殺の記録』岩波書店、『植民地としてのモンゴル』勉誠出版、『中国とモンゴルのはざままで ウラーンフーの実らなかった民族自決の夢』 岩波現代全書、『逆転の大世界の中国史 ユーラシアの視点から』文藝春秋）

4 . 研究成果

現代アフロ・ユーラシアを文明の多様な現実を研究し分析する個別研究が多数集積されたが、近代世界システムとの闘争のなかで、アフロ・ユ ラシア内陸乾燥地文明地域の再興を中心に、新たな国際グローバル文明形成がこころみられていることを、3地域の分析でしめした。

アフリカ ネイション国家システムの再構築

アフリカ諸国は、ヨーロッパ植民地支配体制の枠組みのなかで成立したネオ・コロニアル国家である。しかし、2002年、エチオピアのアジスアベバを首都にアフリカ連合（AU）が成立すると、アフリカのネイション国家システムの根本が再検討されることとなった。アフリカの政治経済の混乱と貧困は、その部族主義にあるのではなく、アフリカの歴史的な社会状況を無視して形成された国家枠組みにあるとされ、アフリカ合衆国形成を目標に掲げたからである。アフリカ合衆国成立には至っていないが、各地にある、西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）のような地域連合体の連邦国家化がすすんだ。諸国間共通パスポートが設定され、出入国は自由となり社会経済活動、文化教育の超国家の共同化がはかられた。

ただし地域紛争が激化し、イスラーム過激派闘争の拡大が激しい西アフリカのマリやブルキナ・ファソ、ニジェールなどは、国家崩壊の危機にさえある。この危機に、マリ軍事政府はフランス、EU、国連など西側諸国の治安部隊を排斥、かわってロシアの Wagner との連携を強めた。ロシアは中央アフリカやスーダンにも進出。中国も、アフリカ諸国の鉄道・高速道路建設や文化施設の建設をすすめ、アフリカ連合の本拠高層ビルの建設もおこなった。

イギリス、フランスなど西欧諸国による植民地支配の枠組みのなかでのアフリカ近代化という時代は終わった。日常生活においても、住民主体の近代化が進んだ（中村亮のスワヒリ漁民文化、古澤令太のガーナ漁民文化の研究、嶋田のモーリタニアや南部アフリカ研究、石山のサハラ・オアシス研究）。

中東世界の新たな胎動

中東世界はチュニジアから始まったアラブの春によって大きく変化した。チュニジア、エジプト、リビア、イエメンで既存の政権が倒れ、イラク、シリアで IS によるイスラーム主義国家建設運動がおきた。IS は、米国主導のイラク戦争に対する厳しい批判勢力となり、壊滅したが、イスラーム国家思想を世界にひろげることになった。リビアのカダフィ政権崩壊は、リビア在住のマリ人が、マリに帰国、マリ北部のイスラーム過激派運動を激化させることになり、マリは今や国家崩壊の危機にさえある。

他方、2022年突然始まったロシアのウクライナ戦争は核戦争の危機さえふくみつつ進行しているが、調停役として、黒海に面するトルコの政治力が急速に上昇した。トルコは今 NATO に属する世俗共和国であるが、第一次世界大戦まで中東を支配するオスマン帝国だった。中国の仲

介でイランとサウジアラビアの和解が成立したこともおおい。イランも旧ペルシャ帝国であり、中東には、歴史的伝統のある政治権力が位置することとなった。他方聖地メッカを擁するサウジアラビアも、イスラームの威光を強固にしつつ、湾岸諸国家とともに、石油資源によって近代経済パワーを上昇させている。

中央アジア諸国（トルコ・モンゴル系、ペルシャ系）も、ウクライナ戦争を機に、中国との連携強化にかたむいている。中国・パキスタン経済回廊という一帯一路政策の要点となる回廊に位置するパキスタンも、中国と自由貿易協定を結び、中国との交易活動を推進している。イスラーム文明も、ゾラアスター教・シャマニズムとも結びつきながら復興し始めた（和崎聖日、中山紀子）

社会主義国中国の新グローバル文明構築

中国は、2013年一帯一路政策という中国主導の国際的な経済秩序形成にふみだした。それは、内陸のシルク・ロード交易再開発と、中国から南シナ海・インド洋をへて、中東・アフリカに至る「21世紀海上シルク・ロード」の開発からなる。その実現のために、アジアインフラ投資銀行（AIIB）や上海協力機構も組織され、2021年時点で中国は140カ国、32の国際組織と206件の協力文書を調印し、ユーラシア内に新たな大陸横断鉄道・道路、ガス石油のパイプライン建設がはじまった。

一帯一路政策がはじまって10年、様々な問題をかかえながらも、中国主導の国際的な経済秩序形成は着実にすすんでいる。これには中国の政治支配が伴うという警戒がつきまとうが、本質は、ロシアがおこなったウクライナ戦争のようなむき出しの軍事侵略でなく（NATOとの核戦争の危険さもある）、新経済秩序形成であり、近代世界システムの欠陥や矛盾を補正し、新たな、真なるグローバル経済形成に貢献する価値を有すると評価できる。

しかし中国政治の基本は共産党専制支配にある。中国は公称56民族からなる超多民族国家であり、人口も国土も巨大である。困難な国内統治を、中国は、共産党専制支配をつうじて、成し遂げてきた。これには諸民族文化の厳しい抑圧や破壊もともなった。本研究ではそのことも明らかにした。

楊海英は全76冊にもおよぶ著作によって文化革命時代のモンゴル人弾圧を追及してきたが、2023年に764頁に及ぶ大著『羊と長城』を完成させた。楊の出身地のオールドス地方が舞台である。長城がありその南が漢族の農耕文化地帯であった。しかし漢族文化は長城をこえて北に広がった。モンゴル族の一部は北に逃れ、あるいは漢族と姻戚関係を結んだ。そして共産党政府による管理と抑圧政策が施された。その詳細が『羊と長城』に記された。最高レヴェルの人類学モノグラフィーと評価できる。

文化革命をモンゴル人に対するジェノサイドだったとする楊は『モンゴル人ジェノサイドに関する基礎資料』12巻（2009-2022）も風響社から出版している。これは文化革命時代政府や紅衛兵などによってばらまかれたパンフレットなどの文字資料をあますことなく収集した、文化革命に関する一級資料集である。民衆革命は、イギリスの清教徒革命、フランス革命もそうであったが、暴力統制なき恐怖政治におちいりやすい。文化革命もパンフレット類での煽動で自己批判などの民衆恐怖裁判がふきあれた。

モンゴル牧畜民に対しては、遊牧禁止・定住化という生態移民政策が現在でもおこなわれている（児玉香菜子のゴビ砂漠牧畜民研究）。これは生態環境保護の名目でおこなわれるが、牧畜禁止政策であり、牧畜文化の根本的変革を目的にしている。ブレンサイン編著の『中国北部辺境地域における多民族社会の再編』も、旧満州地域文化の再編を論じた。

ウイグルやチベットにおいても同様な研究が行われるなら、巨大多民族国家統一の過酷な現代史が全体としてあきらかになる。

モンゴル牧畜民固有文化研究にもすぐれた成果があった。海外研究協力者の包海岩による家畜芬（フン）研究（『芬芳』2023）、曹榮梅によるモンゴル碾茶（乳茶）研究（『中国内モンゴルにおける碾茶文化 茶葉交易が結んだ乳と茶』2024）である。

包は、家畜芬が牧畜文化の主要生産物の一つであり、これにより樹木の少ない寒冷草原の生活に必要な燃料が確保され、ストーブでの暖房と料理が可能になることを明らかにした。これは牧畜文化についての世界的発見である。包は国家賞という中国で最も権威のある学術賞を受賞した。

牧畜文化では乳茶が朝昼の食事になる。固形茶を刻んで入れた乳を沸かす。これを碾茶という。茶は中国中南部の産。南方から茶、北方から馬を交易する茶葉交易があり、これによって碾茶文化がうまれた。茶には日本などに伝えられた葉茶文化と固形茶文化があり、固形茶文化

は、内モンゴルのみならず内陸全域、チベットや西域にまでひろがる茶文化だという。茶馬交易はシルク・ロード交易とつながる重要交易であった。

家畜芬も碾茶もモンゴル牧畜民の日常生活に不可欠な文化であり、それが二人のモンゴル人研究者によって明らかにされた。なお研究代表嶋田の、『砂漠と文明』も包によって中国語に翻訳され、出版される。包と曹はともに長い間嶋田指導の大学院生として学び、本プロジェクトメンバーであった。

中国の一帶一路政策は人類文明史的意義をもつ国際経済政策であるが、国内統一にともなった強権的な政治政策が修正されないかぎり、国際関係においても軋轢を生む。諸民族文化、諸宗教文化、諸国文化、諸地域文化の豊かな多様性を考慮したうえで成り立つダイナミックな国際文化の生成が期待される。

近代牧畜文化の誕生

牧畜文化をささえてきたのは、5 畜中心の家畜とともに牧畜民家族も移動する遊牧的な牧畜文化であった。遊牧といっても正確には長距離の移牧（キャンプ地の規則的移動）であったが、限られた空間内の定着化がおおきななげれとなった。これにともない、遊牧の中心であったウマ・ラクダという大型家畜の飼育が激減し、ヤギ・羊の小型家畜と牝牛を中心とする酪農型牧畜が中心になった（包海岩『社会主義体制下における中国内モンゴル牧畜文化の近代化 1949 - 2009』）。他方、イスラーム過激派と政府軍の武力衝突が頻発しているアフリカでは、家畜の群とともに原野でくらす牧畜民が襲撃され家畜が略奪される事件が頻発している。

坂田隆は、減少傾向にあるラクダ頭数の世界統計研究をしあげたが、アフリカのスーダン、モーリタニアでは上昇がみられるという。砂漠が広がる地域ではラクダ牧畜はまだ健在である。また、ラクダは第二次世界大戦まで日本軍によっても軍用として利用された。他方中東では、ラクダ競争が盛んであり、優秀なラクダは高値でとりひきされる。

『ユーラシア乳文化論』をしあげた平田昌弘は、ユーラシア外のアフリカや南米にまで調査領域をひろげ、牧畜による最大の生産物乳の世界的研究をすすめた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計120件（うち査読付論文 37件 / うち国際共著 12件 / うちオープンアクセス 28件）

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 9
2. 論文標題 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の現代動態	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Afro-Eurasian Inner Dryland Civilizations	6. 最初と最後の頁 1 19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 178
2. 論文標題 黒アフリカ裸族文明のあけぼの マンダラ山地の腰飾り文化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 62 71
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂田隆	4. 巻 -
2. 論文標題 女性と男性の体温調節	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年 縄田浩志編	6. 最初と最後の頁 52-53
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂田隆	4. 巻 -
2. 論文標題 暑熱と寒暖差への適応	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年 縄田浩志編	6. 最初と最後の頁 50-51
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂田隆	4. 巻 -
2. 論文標題 第二次大戦中日本のキニーネの外交利用に関する記録	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 石巻専修大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 125-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakata Takashi	4. 巻 31
2. 論文標題 Japanese Diplomatic Policy and Differences in the Handling of Quinine Supply by the Japanese Government during World War II	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bulletin of Ishinonaki Senshu University	6. 最初と最後の頁 125-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T Sakata et al.	4. 巻 78
2. 論文標題 Current situation and perspectives of ready-to-eat food/meal suppliers	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nutrition Reviews (Supplement 3)	6. 最初と最後の頁 27-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂田隆	4. 巻 143
2. 論文標題 食の外部化を担う企業、特に中食企業における健康・栄養の意識の実態	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 イルシー	6. 最初と最後の頁 58-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂田隆	4. 巻 8
2. 論文標題 1931年以降の日本軍の内蒙古進出を中心とした西北ルートに関連する出来事	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂田隆	4. 巻 31
2. 論文標題 第二次大戦中日本のキニーネの外交利用に関する記録	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 石巻専修大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 125-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T Sakata	4. 巻 32
2. 論文標題 Japanese Diplomatic Policy and Differences in the Handling of Quinine Supply by the Japanese Government during World War II	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 石巻専修大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂田隆	4. 巻 33
2. 論文標題 第二次大戦末までの日本でのマラリア剤生産、日本軍のマラリア標準治療法、マラリア剤配布	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 石巻専修大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 91-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakata, T.	4. 巻 34
2. 論文標題 Influence of Anti-Comintern Pact, German-Soviet War and Capture of Cinchona and Quinine Factory in Java on the Distribution Plans for Quinine by the Japanese Army	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 卷専修大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 67-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平田昌弘	4. 巻 18
2. 論文標題 日本乳食文化の型と普及形態の類型分類	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 食文化研究	6. 最初と最後の頁 9-19.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Hirata and Shunji Oniki,	4. 巻 32 (1)
2. 論文標題 Transformation of Afar pastoralism with climate change and a market economy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Arid Land Studies	6. 最初と最後の頁 1-13.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Hirata, Shiho Ebihara and Yusuke Bessyo	4. 巻 31(1):
2. 論文標題 Case study of dietary intake of Amdo Tibetan pastoralists in Huangnan Tibetan Autonomous Prefecture in eastern Qinghai, China.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Arid Land Studies	6. 最初と最後の頁 15-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Hirata, Toshitaka Mori, Birhane Gebreanenia Gebremedhin, Shunji Oniki and Koichi Takenaka	4. 巻 30 (4)
2. 論文標題 Preliminary study about dietary intake of Tigray farmers in the southern Kilite Awlaelo district of northern Ethiopia.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Arid Land Studies	6. 最初と最後の頁 51-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平田昌弘	4. 巻 66(2): 93-97
2. 論文標題 牧畜・乳文化から日本中山間地の活性化を考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本草地学会誌	6. 最初と最後の頁 93-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水木千春、朴恵淑、福井弘道、古澤礼太、川村真也	4. 巻 2023
2. 論文標題 流域圏SDGs評価モデルの構築に関する研究 -三重県の流域圏を事例として-	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 IDEAS Joint Usage/Joint Research Report	6. 最初と最後の頁 133-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古澤礼太	4. 巻 9
2. 論文標題 植民地都市アクラの食文化にみるアフロ・ユーラシア文明現代動態	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 47-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原 理史, 古澤 礼太, 福井 弘道	4. 巻 31
2. 論文標題 身近な社会的取組とSDGsの関連性理解のためのESD学習ツールの開発	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 環境教育	6. 最初と最後の頁 64-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5647/jsoee.31.1_64	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kinhide Mushakoji & Reita Furusawa	4. 巻 -
2. 論文標題 A global ESD dialogue on the complementarity of traditional and modern knowledge:The contribution of the Ise-Mikawa Bay River-Basins ESD model towards the global realization of the SDGs	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Multi-stakeholder Approaches to Education for Sustainable Development in Local Communities: Towards Achieving the Sustainable Development Goals in Asia (UNESCO)	6. 最初と最後の頁 33-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryo NAKAMURA	4. 巻 -
2. 論文標題 Hidden Cultural Heritage: Tourism and Belief concerning the UNESCO World Heritage of Kilwa Island on the Southern Swahili Coast in Tanzania	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies: Heritage Practices in Africa	6. 最初と最後の頁 21-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村亮	4. 巻 8
2. 論文標題 タンザニア南部キルワ島の経済互助組織の展開	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 79-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 縄田浩志, 藤本悠子, 河田尚子, 片倉邦雄, 古澤文, 渡邊三津子, 遠藤仁, 石山俊	4. 巻 153
2. 論文標題 片倉もところによるサウディ・アラビア, ワーディ・ファーティマ地域を対象とするフィールド調査資料の学術的特徴について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国立民族学博物館調査報告	6. 最初と最後の頁 1-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村亮	4. 巻 9
2. 論文標題 スワヒリ文明の現代動態：タンザニア南部キルワ島の23年	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 87-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 縄田浩志, 西尾哲夫, 片倉邦雄, 藤本悠子, 河田尚子, 古澤文, 渡邊三津子, 遠藤仁, 石山俊	4. 巻 153
2. 論文標題 片倉もところによるサウディ・アラビア, ワーディ・ファーティマ地域を対象とするフィールド調査写真のアーカイブ登録について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国立民族学博物館調査報告	6. 最初と最後の頁 63-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石山俊	4. 巻 46-1
2. 論文標題 地域研究画像のデジタル化・データベース化と研究への活用ーDiPLASプロジェクトの経験ー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国立民族学博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 183-196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石山俊	4. 巻 2023年3月号
2. 論文標題 変わりつつある遊牧文化：みんなく回遊	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 月刊みんなく	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石山俊	4. 巻 2022年5月号
2. 論文標題 消えゆくオアシスのバスケットリー	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 月刊みんなく	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石山俊	4. 巻 9
2. 論文標題 アラビア半島・オアシス農村およびサハラ・オアシス農村の近代動態	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 39 46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ウスビ サコ	4. 巻 創刊号
2. 論文標題 万国博覧会における「アフリカ表象」をめぐって	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 万博学研究会編	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sacko Oussouby	4. 巻 76
2. 論文標題 Le waza comme enjeu patrimonial universel	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Waza, l'art ineffable de l'apprentissage Techniques & Culture	6. 最初と最後の頁 244-253
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oussouby Sacko	4. 巻 5
2. 論文標題 The involvement of local communities in the conservation process of earthen architecture in the Sahel-Sahara region; the case of Djenne;Mali	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Built Heritage	6. 最初と最後の頁 20pp.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sacko Oussouby	4. 巻 -
2. 論文標題 Anthropological Approach of Courtyard Houses in Bamako	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PROCEEDINGS of the Scientific Symposium Building Peace through Heritage - World Forum to Change through Dialogue Florence	6. 最初と最後の頁 747-762
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bachir Cherif Tinhinane, Sacko Oussouby	4. 巻 -
2. 論文標題 Earthen architecture in northwest Africa : Local practice to preserve heritage and traditional know-how	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PROCEEDINGS of the Scientific Symposium Building Peace through Heritage - World Forum to Change through Dialogue Florence	6. 最初と最後の頁 763-770
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bachir Cherif Tinhinane, Sacko Oussouby	4. 巻 -
2. 論文標題 Earthen architecture in northwest Africa : Local practice to preserve heritage and traditional know-how	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PROCEEDINGS of the Scientific Symposium Building Peace through Heritage - World Forum to Change through Dialogue Florence	6. 最初と最後の頁 763-770
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ブレンサイン	4. 巻 52
2. 論文標題 満鉄産業部の東部内モンゴル村落調査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人間文化 滋賀県立大学人間文化学部学報	6. 最初と最後の頁 9- 1 8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ブレンサイン	4. 巻 54
2. 論文標題 戦前期日本における元冠遺跡の政治利用について	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 人間文化 滋賀県立大学人間文化 学部学報	6. 最初と最後の頁 72-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 8
2. 論文標題 動乱のアフリカ文明学序論 近代国民国家体制の再構築	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations	6. 最初と最後の頁 117-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 44
2. 論文標題 地球環境史から見た人類と砂漠	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 TRANSIT	6. 最初と最後の頁 52-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 44
2. 論文標題 古今東西の砂漠都市 人はなぜ砂漠に街をつくるのか 古代	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 TRANSIT	6. 最初と最後の頁 158-161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂田 隆	4. 巻 8
2. 論文標題 1931年以降の日本軍の内蒙古進出を中心とした西北ルートに関連する出来事	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 52-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 縄田浩志	4. 巻 6月号
2. 論文標題 ワーディ・ファーティマの人びと 半世紀の変化をおって.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 縄田浩志	4. 巻 32
2. 論文標題 アラビア半島のオアシスに生きる女性たちの50年 文化人類学者、片倉もとの現地調査資料から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 横浜ユーラシア文化館ニュース	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroshi Nawata	4. 巻 49
2. 論文標題 Exploring 50 Years of Livelihood and Landscape Change in Wadi Fatima, Saudi Arabia: Ethnographic Collections of Motoko Katakura, a Japanese Female Anthropologist	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 MINPAKU Anthropology Newsletter	6. 最初と最後の頁 11-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 縄田浩志	4. 巻 4
2. 論文標題 企画展「サウジアラビア, オアシスに生きる女性たちの50年」関連イベントを通じて 大学生が伝える、 現地で学んだ中東文化のいま	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 きざし	6. 最初と最後の頁 16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 縄田浩志	4. 巻 17
2. 論文標題 銀と金からみるアラビア衣装	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 鉱業博物館だより	6. 最初と最後の頁 2-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中山紀子	4. 巻 下
2. 論文標題 媽祖信仰とヒズル信仰：イスラームの水の聖者との関連から（中国語）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第五屆（2019年）國際媽祖文化學術研討會 論文編	6. 最初と最後の頁 703-704
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 中山紀子	4. 巻 8
2. 論文標題 アフロ・ユーラシアに広がる水源信仰と聖者ヒズル(Saint Khidr Belief as a Water Spring Worship in Afro-Eurasia)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations	6. 最初と最後の頁 32-33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Hirata	4. 巻 29(4)
2. 論文標題 Forest conservation from the perspective of local fuel production and its consumption in the southern part of Kilite Awlaelo district in the Eastern zone of the Tigray Region, Ethiopia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Arid Land Studies	6. 最初と最後の頁 115-127
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Hirata and Isamu Yamada	4. 巻 68(1):
2. 論文標題 Milk culture in Slovenia in the Western Part of the Balkan Peninsula	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Milk Science	6. 最初と最後の頁 12-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石山俊	4. 巻 29.1.
2. 論文標題 サハラ・オアシスにおける灌漑水供給システムとナツメヤシ栽培	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 沙漠研究	6. 最初と最後の頁 21-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村亮	4. 巻 8
2. 論文標題 タンザニア南部キルワ島の経済互助組織の展開	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 79-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 古澤礼太	4. 巻 8
2. 論文標題 ガーナ共和国アクラの酒文化の動態：儀礼酒の変遷とヤシ酒の製造法行	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 89-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 サラングレル・児玉香菜子	4. 巻 21
2. 論文標題 都市在住モンゴル人女性のオーラルヒストリー (2) ジンファー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 千葉大学ユーラシア言語文化論集	6. 最初と最後の頁 175-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 児玉香菜子	4. 巻 21
2. 論文標題 『オールドス民話収集』(3) 銭世英著、1999年、フフホト	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 千葉大学ユーラシア言語文化論集	6. 最初と最後の頁 181-199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 児玉香菜子	4. 巻 8
2. 論文標題 2019年度研究調査報告	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 75-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 児玉香菜子	4. 巻 23
2. 論文標題 モンゴル牧畜文化をまなぶ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Field+: フィールドプラス: 世界を感応する雑誌 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	6. 最初と最後の頁 20-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 和崎聖日・アドハム・アシロフ	4. 巻 8
2. 論文標題 旧ソ連中央アジアのスーフイズムと病気治療: ジャフル儀礼の手順について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 22-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 アドラム・アシロフ、和崎聖日（日本語訳）	4. 巻 8
2. 論文標題 中央アジア文明における宗教信仰と儀礼	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 15-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 ハサンハン・ヤフヤー・アブドゥルマジード、和崎聖日・木村暁（訳、注）	4. 巻 15
2. 論文標題 ウズベク語におけるクルアーンの解釈と翻訳について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本中央アジア学会報	6. 最初と最後の頁 23-52
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 7
2. 論文標題 モーリタニア・サハラ文明の現代動態	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 AFRO-EURASIAN Inner Dry Land Civilizations	6. 最初と最後の頁 71-93
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 85-10
2. 論文標題 多民族交錯の大陸文明	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 150-163
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 85-9
2. 論文標題 EU(欧州連合)ヨーロッパ連邦の成立	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 162-169
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 85-8
2. 論文標題 世界大戦のヨーロッパ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 154-161
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 85-7
2. 論文標題 植民地主義とグローバル化	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 136-151
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 85-6
2. 論文標題 フランス革命とナポレオン	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 138-144
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 85-5
2. 論文標題 絶対王政の誕生	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 148-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 85-4
2. 論文標題 人間の誕生	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 128-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂田隆	4. 巻 7
2. 論文標題 日中戦争期の外務省による駱駝輸送の研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations	6. 最初と最後の頁 2-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ウスビ・サコ	4. 巻 6
2. 論文標題 ジェンネの日干しレンガ建築文化の保護・修復 日干しレンガ建築士からの聞き取り	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations	6. 最初と最後の頁 49-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ウスビ・サコ	4. 巻 第30巻1号
2. 論文標題 中国における西アフリカ系商人のコミュニティ形成とビジネスの実態 広州に生きるアフリカ出身者とチョコレートタウンに焦点を当てる	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 立命館言語文化研究	6. 最初と最後の頁 89-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuda, H., S. N. Panda, Mohamed A. M. Abd Elbasit, T. Kawai, T. Elgamri, A. A. Fenta and H. Nawata	4. 巻 16 (4)
2. 論文標題 Teleconnection of rainfall time series in the central Nile Basin with sea surface temperature	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Paddy and Water Environment	6. 最初と最後の頁 805-821
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 依田清胤・齊藤忠臣・辻涉・安田裕・縄田浩志	4. 巻 43 (4)
2. 論文標題 スーダンの侵略的外来植物メスキートの生理と生態	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本緑化学会誌	6. 最初と最後の頁 586-589
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 縄田浩志	4. 巻 166
2. 論文標題 ワーディ・ファーティマで本格的に再調査 国を豊にする“文化”資源の可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊アラブ	6. 最初と最後の頁 23-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 縄田浩志	4. 巻 8
2. 論文標題 アラビア半島オアシス生活の半世紀 片倉もとこ「アラブ社会」コレクション	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 7-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 縄田浩志	4. 巻 161
2. 論文標題 コーヒー文化から、移動戦略を浮き彫りにする	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 民博通信	6. 最初と最後の頁 22-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中山紀子	4. 巻 13号
2. 論文標題 水への希求心-イランにおける2015年春フィールド日誌より	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 貿易風-中部大学国際関係学部論集	6. 最初と最後の頁 81-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中山紀子	4. 巻 7
2. 論文標題 イスラームに覆われた自然崇拜 ウズベキスタンの水源信仰に関する 2017 年度基礎調査	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilisations	6. 最初と最後の頁 39-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Masahiro Hirata and Isamu Yamada	4. 巻 68(1)
2. 論文標題 Milk culture in Slovenia in the Western Part of the Balkan Peninsula	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Milk Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11465/milk.67.65	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Hirata , Junko Kimura, Takaho Ueda and Tanja Barattin	4. 巻 67(2)
2. 論文標題 Milk Processing System in Barbasia of Sardinia (Italy) located in Mediterranean Area	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Milk Science	6. 最初と最後の頁 65-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11465/milk.67.65	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Hirata, Ryunosuke Ogawa, Birhane Gebreanenia Gebremedhin, and Koichi Takenaka	4. 巻 28(1)
2. 論文標題 The recent decrease in the number of livestock and its cause for the agri-pastoralists in the Ethiopian highland- From the cases in southern Kilite Awlaelo district in eastern Tigray region	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Arid Land Studies	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14976/jals.28.1_1	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平田昌弘	4. 巻 69(2)
2. 論文標題 生乳と乳製品、肉、麦類で厳寒の冬を生き抜く - ヤクと生きる、チベット牧畜民の食生活	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 デーリイマン	6. 最初と最後の頁 52-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平田昌弘	4. 巻 68(11)
2. 論文標題 市場経済化と共に乳製品が再び勢い取り戻す - 変わりゆく内モンゴルの食文化と牧畜民	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 デーリィマン	6. 最初と最後の頁 58-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石山俊	4. 巻 7
2. 論文標題 石油経済下50年間のサウジアラビア農業動態	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 AFRO-EURASIAN Inner Dry Land Civilisations アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 55-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 サランゲレル・児玉香菜子	4. 巻 20
2. 論文標題 都市在住モンゴル人女性のオーラルヒストリー(1)ダリマ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 千葉大学ユーラシア言語文化論集	6. 最初と最後の頁 323-339
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 児玉香菜子 (翻訳)	4. 巻 20
2. 論文標題 『オールドス民話収集』(2) 銭世英著	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 千葉大学ユーラシア言語文化論集	6. 最初と最後の頁 341-361
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古澤礼太	4. 巻 7
2. 論文標題 オス延縄漁民の社会組織：ガーナ共和国首都アクラのカ民族漁業	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 105-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村亮	4. 巻 58(3)
2. 論文標題 福井県小浜市内外海地域の郷土食ナレズシを活用した地域振興の可能性を探る	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地域漁業研究	6. 最初と最後の頁 120-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村亮、アーディル・ムハンマド・サーリフ	4. 巻 7
2. 論文標題 刺し網漁とジュゴン混獲 スーダン紅海北部ドンゴナーブ湾海洋保護区の事例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 95-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 ボルジギン・ブレンサイン	4. 巻 7
2. 論文標題 「一帯一路」と中国周辺少数民族 地域の社会変容 (科研国際シンポジウム報告)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 33-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 87.1
2. 論文標題 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の再興か	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 科学	6. 最初と最後の頁 0973-0975
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 84.4
2. 論文標題 イスラームと仏教 アフリカ文明の原像をたずねて 8	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 41 - 47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 84.5
2. 論文標題 喜捨の宗教 アフリカ文明の原像をたずねて 9	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 34-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 84.6
2. 論文標題 サハラ紛争の構造 アフリカ文明の原像をたずねて10	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 134-140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 84.7
2. 論文標題 森の文化ヨーロッパ ヨーロッパ文明の原像 1	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 142-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 84.8
2. 論文標題 氷に閉ざされた第4氷期のヨーロッパ ヨーロッパ文明の原像 2	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 138-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 84.9
2. 論文標題 ローマ帝国文化 ヨーロッパ文明の原像 3	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 130-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 84.1
2. 論文標題 ゲルマン民族の大移動 ヨーロッパ文明の原像 4	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 144-150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 84.11
2. 論文標題 多民族の交錯したヨーロッパ ヨーロッパ文明の原像 5	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 160-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 84.12
2. 論文標題 キリスト教フランク王国 ヨーロッパ文明の原像 6	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 108-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 85. 1
2. 論文標題 聖アウグスチヌス ヨーロッパ文明の原像 7	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 138-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 85. 2
2. 論文標題 宗教改革 ヨーロッパ文明の原像 8	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 160-1166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 85.3
2. 論文標題 主権国家の誕生 ヨーロッパ文明の原像 9	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 148-154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 85.4
2. 論文標題 人間の誕生 ヨーロッパ文明の原像 10	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大法輪	6. 最初と最後の頁 128-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田義仁	4. 巻 6
2. 論文標題 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 坂田隆	4. 巻 6
2. 論文標題 清朝から民国期の中国内陸での遠隔地交易	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 13-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 ウスビ・サコ	4. 巻 6
2. 論文標題 ジェンネの日干しレンガ建築文化の保護・修復;日干しレンガ建築師からの聞き取り	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明 (Afro-Eurasian Inner Dry Land Civilizations)	6. 最初と最後の頁 49-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 楊海英	4. 巻 13
2. 論文標題 王昭君をめぐる中国人の苦悩 観光資源における歴史の政治利用の一例	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 静岡大学人文社会科学部アジア研究センター『アジア研究』	6. 最初と最後の頁 99-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ブレンサイン	4. 巻 135
2. 論文標題 内モンゴルイ自治区設立70周年で思うこと	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本とモンゴル	6. 最初と最後の頁 129-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Hirata and Akemi Honda	4. 巻 5 (4)
2. 論文標題 Milk Processing System in the Hilly Terrain of Central Nepal.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Advances in Dairy Research,	6. 最初と最後の頁 198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4172/2329-888X.1000198	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Masahiro Hirata, Shunji Oniki, Masaru Kagatsume, Melaku Berhe	4. 巻 27(2)
2. 論文標題 Dietary intake of Afar pastoralist in the lower highland of northern Ethiopia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Arid Land Studies	6. 最初と最後の頁 75-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 平田昌弘	4. 巻 82(2)
2. 論文標題 非搾乳論考：搾乳には進まなかったリヤマ・アルパカ牧畜民と家畜との関係性 アンデス高地ワイリャイリャ共同体のE牧民世帯の事例から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 131-150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 平田昌弘, Mihaela Persu, 山田 勇	4. 巻 66(1)
2. 論文標題 ルーマニア・南カルパチア山脈における乳加工体系	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Milk Science	6. 最初と最後の頁 27-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 中山紀子	4. 巻 12
2. 論文標題 テセツェル (tesettür) とヒジャブ (hijab) についての覚書き	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 貿易風：中部大学国際関係学部論集	6. 最初と最後の頁 38-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中山紀子、伊藤正晃	4. 巻 17
2. 論文標題 ハイブリッド・プロジェクト始動！ 国際関係学部の新たなる挑戦	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中部大学教育研究	6. 最初と最後の頁 45-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村亮	4. 巻 6
2. 論文標題 タンザニア南部キルワ島にみるスワヒリ漁業経済の変容	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 49-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 谷口陽子、高嶋美穂、中川原育子	4. 巻 17
2. 論文標題 一宮市博物館蔵石造菩薩頭部彩色の分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 帝京大学文化財研究所研究報告	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古澤礼太	4. 巻 6
2. 論文標題 ガーナ共和国アクラ沿岸部の延縄漁の漁具 - ガ族オス漁民の事例」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明	6. 最初と最後の頁 61-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計254件（うち招待講演 34件 / うち国際学会 69件）

1. 発表者名 坂田隆
2. 発表標題 ラクダの利用による沙漠へのヒトの進出
3. 学会等名 専修大学北上高等学校（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 ジェノサイド国家 中国と諸民族 モンゴル・ウイグルの事実
3. 学会等名 仙台「正論」懇話会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 中国によるモンゴル人ジェノサイドと日本 現代の民族問題と国際関係
3. 学会等名 県立広島大学多文化共生社会研究センター主催「講座 東アジアを学ぶ 2022年度第一回」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 チベット仏教世界の今 宗教の中国化 と国際社会
3. 学会等名 名古屋学院大学「ローカリティと宗教」研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 世界史の中の台湾、世界の台湾
3. 学会等名 岡山「正論」友の会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 中国に奪われた南モンゴルの悲劇 日本は今呪縛を解くべき時
3. 学会等名 静岡「正論」友の会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 中国で何がおこなわれているのか
3. 学会等名 第九回5.3富士市憲法講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 中国によるモンゴル人ジェノサイド 過去・現在
3. 学会等名 一般社団法人・日本戦略研究フォーラム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 中国の民族問題 南モンゴルとウイグルの実例から
3. 学会等名 九州正論懇話会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 中国によるモンゴル人ジェノサイドについて 過去から現在へ
3. 学会等名 一般社団法人・大阪倶楽部
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 中国の民族問題 モンゴル・ウイグルの事例から
3. 学会等名 NPO法人・国際生涯学習センター
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 中国の少数民族弾圧 モンゴル・ウイグルのいま
3. 学会等名 神戸正論懇話会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 内モンゴルにおける民族浄化の歴史と現状
3. 学会等名 一般財団法人 交詢社
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 中国の民族問題の深層 モンゴル・ウイグルの事例から
3. 学会等名 経営文化フォーラム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 中国共産党政府の過去と現在のふるまいから見える日本の未来
3. 学会等名 香川県中小企業同友会・同友会大学特別講座(オンライン形式)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 中央ユーラシアにおける文明指摘興亡 ウズベキスタンの視点
3. 学会等名 名古屋学院大学・中央ユーラシア歴史生態学研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 アラル海周辺の歴史と環境
3. 学会等名 第四回『中央アジア牧畜社会動態研究』於:国立遺伝学研究所(三島)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 カーナ首都アクラのカマシ漁港に見る漁民社会の構造：伝統的秩序と漁港空間の特性から
3. 学会等名 日本アフリカ学会第59回学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 祭りと環境 ～SDGsへの貢献～
3. 学会等名 至学館大学コミュニケーション研究所・あいち山車まつり日本一協議会共催研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 SDGs達成に向けた生物文化多様性イベント：伊勢・三河湾流域圏の事例より
3. 学会等名 第25回イベント学会第25回研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話プロジェクト ～SDGs推進モデルの検討～
3. 学会等名 第25回イベント学会第25回研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 FURUSAWA, Reita
2. 発表標題 Bio-Cultural Diversity Project on Traditional Festivals and Biodiversity Conservation
3. 学会等名 The 14th Asia-Pacific RCE Meeting ‘Empowering Local Wisdom for Education for Sustainable Development’
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 流域圏を対象とした生物文化多様性に関するESD活動- 伊勢・三河湾流域圏の事例-
3. 学会等名 日本ESD学会 第4回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 東海・中部地域で進める「SDGsまちづくり」のための人づくり
3. 学会等名 土地環境学会2021年公開シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 愛・地球博の市民参加とSDGs
3. 学会等名 イベント学会第24回研究大会小フォーラム「万博の市民参加再考 ～愛・地球博の市民参加のレガシーとは～」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 FURUSAWA, Reita
2. 発表標題 The Traditional Knowledge Based ESD and Forest Education in a Bioregion: A case of the bio-cultural diversity ESD program in RCE Chubu in Central Japan
3. 学会等名 International Conference on Forest Education, FAO
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 タンザニア南部キルワ島の女性商人の変遷：2005～2022年にかけて
3. 学会等名 地域漁業学会第64回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 タンザニア南部キルワ島の経済互助組織にみる地域振興と環境保全の可能性
3. 学会等名 日本アフリカ学会第59回学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ryo NAKAMURA
2. 発表標題 Local Belief at a Hidden Heritage Site on Kilwa Island in Tanzania
3. 学会等名 ASSOCIATION OF CRITICAL HERITAGE STUDIES 5TH BIENNIAL CONFERENCE (ACHS 2020)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石山俊、渡邊三津子、遠藤 仁、縄田浩志
2. 発表標題 ワーディ・ファーティマオアシスにおける最近 50 年の生業の変化、サウジアラビア
3. 学会等名 日本沙漠学会第31回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shun ISHIYAMA
2. 発表標題 Using scientific results to benefit local people by working together at In Belbel Oasis, Algeria: In accordance with the will of the late Professor Iwao Kobori, the Japanese human geographer
3. 学会等名 RAI2020: Anthropology and Geography: Dialogues Past, Present and Future, ROYAL ANTHROPOLOGICAL INSTITUTE
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石山俊
2. 発表標題 写真・資料アーカイブの活用したオアシス生業変容の研究：サウジアラビア，ワーディ・ファーティマの事例から
3. 学会等名 人間文化研究機構地域研究推進事業 「現代中東地域研究推進事業」シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石山俊
2. 発表標題 ナツメヤシとデーツの文化
3. 学会等名 秋田大学鉱業博物館企画展講演会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石山俊
2. 発表標題 写真・資料アーカイブの活用したオアシス生業変容の研究：サウジアラビア，ワーディ・ファーティマの事例から
3. 学会等名 人間文化研究機構地域研究推進事業 「現代中東地域研究推進事業」シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石山俊
2. 発表標題 ナツメヤシとデーツの文化
3. 学会等名 秋田大学鉱業博物館企画展講演会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 児玉香菜子
2. 発表標題 オーラルヒストリーからみるモンゴル牧畜民女性の大都市進出過程とその背景 中国フフホト市の事例から
3. 学会等名 日本モンゴル学会2022年度秋季大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 中国の風土と仏教芸術文化
3. 学会等名 名古屋美術文化研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 探検隊の発掘を中心としたシルクロード学の成果 全3回
3. 学会等名 名古屋美術文化研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 シルクロードの仏教文化 キジル石窟の仏教説話図
3. 学会等名 朝日カルチャーセンター
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 シルクロードの十字路 ~アフガニスタンの仏教美術~ 全3回
3. 学会等名 朝日カルチャーセンター
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 探検隊の発掘を中心としたシルクロード学の成果
3. 学会等名 名古屋美術文化研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata,
2. 発表標題 "Exploring 50 Years of Livelihood and Landscape Change in Wadi Fatima, Saudi Arabia: Ethnographic Collections of Motoko Katakura, a Japanese Female Anthropologist"
3. 学会等名 The National Museum, Riyadh
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shimada Yoshihito
2. 発表標題 サハラ砂漠の世界遺産ーモーリタニアー
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態国際シンポジウム アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の文化財とその保護 - Alain Diop ICOMOS副会長講演 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shimada Yoshihito
2. 発表標題 一帯一路 One Belt, One Road Initiative -アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明論から考えるFrom Afro・Eurasian Inner Dryland Civilization point of view-
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明 第3回国際シンポジウム 「一帯一路One Belt, One Road Initiative」アフロ・ユーラシア文明論から考える(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ホルジギン・ブレンサイン
2. 発表標題 遊牧民とその内なる世界
3. 学会等名 第二回「遊牧計画 Nomad Relay」講演会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ホルジギン・ブレンサイン
2. 発表標題 '一帯一路'とモンゴル国研究 フィールドワーク、社会と越境的意義
3. 学会等名 2019年度中国教育部大学院生サマースクール講演（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ホルジギン・ブレンサイン
2. 発表標題 内モンゴルとカルピス翁 三島海雲(1878-1974)
3. 学会等名 みのお中国文化に親しむ会第52回講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ホルジギン・ブレンサイン
2. 発表標題 建国初期中国のシラムレン河流域における資源調査と認識
3. 学会等名 内モンゴル師範大学科学史研究院講演
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ホルジギン・ブレンサイン
2. 発表標題 老ビチエーチNawangnamjilが描く清末ハルハ・モンゴルの政治と社会
3. 学会等名 第二回満学国際シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坂田隆
2. 発表標題 ラクダのはなし
3. 学会等名 宮城県小牛田農林高等学校における社会人講話
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 Vernacular and Earthen Architecture towards Local Development
3. 学会等名 Pingyao International Conference（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 The management of manga business
3. 学会等名 Panel discussion 国立台湾歴史博物館 展覧会オープニングイベント（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 Quels logements pour les villes durables en Afrique?
3. 学会等名 Table Rond L'E.H.E.S.S. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 Quel Capital humain pour une Afrique emergente?
3. 学会等名 20e Forum de Bamako "Quelle Afrique a l'horizon 2040?" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tinhinane BACHIR CHERIF, Oussouby SACKO
2. 発表標題 Panel Discusson Potential and Challenge of Shared Campus
3. 学会等名 Shared Campus Inaugural Conference & Officail Launch (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 多様な価値観を認め合える社会とは - 人を大切にする教育 -
3. 学会等名 太平洋人材交流センター (PREX) (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 Earthen architecture in northwest Africa: Local practice to preserve heritage and traditional know-how
3. 学会等名 2020Forum "Building Peace through Heritage" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 グローバル社会における地域コミュニティのあり方
3. 学会等名 全国市町村国際文化研修「グローバル社会における地域コミュニティのあり方」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 こどもと地域、世界の事例を通して
3. 学会等名 第53回幼児発達研究会・基調講演
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 外国人と共に創る京都の未来
3. 学会等名 第1回京都府外国人材受入れ・共生推進本部会議 パネルディスカッション
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 グローバル化する社会～日本における異文化共生とは～
3. 学会等名 福井大学工業会東海支部
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 グローバル化する社会と日本の大学の行方
3. 学会等名 大学コンソーシアム京都25周年記念講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 私の履歴書
3. 学会等名 同志社大学ESSクラブOB会講演
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 グローバル時代の大阪のこれから～多文化共生のためにできること～
3. 学会等名 第109回マッセセミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 「サハラ・サーヘルの泥の建築文化遺産の保存と住民の関わりーモロッコとアルジェリアの事例ー」
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態国際シンポジウム アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の文化財とその保護 - Alain Diop ICOMOS副会長講演 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 外国人材の受入と多文化共生の推進と課題
3. 学会等名 農林水産部公務員倫理・人権問題等合同研修
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 人を大切に育てる教育～多様な価値観を認めあう心
3. 学会等名 全国産業安全衛生大会(ゼロ災活動分科会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 多様性を認め合う社会の実現に向けて
3. 学会等名 滋賀医科大学 男女共同参画推進のための講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 Plenary Speech "Diverse Leaders in Japanese Education"
3. 学会等名 JALT(全国語学教育学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 伝統に今を織りなす学びのまち京都～多様化する現代に、より良い社会を創造する学び～
3. 学会等名 京都市生涯市民フォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 地方で輝く大学の挑戦 (パネルディスカッション)
3. 学会等名 読売教育改革フォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 世代を超えてともに描く Inochi の都市中之島
3. 学会等名 nochi学生・未来プロジェクト/WAKAZO
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 Table ronde "Urbanisation et transformation des territoires africains"
3. 学会等名 L'EHESS(フランス社会科学高等研究院) Colloque international (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 多文化共生社会のリーダーとは
3. 学会等名 第2回都市経営改革研修(京都市役所)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 アフリカと日本の協力関係-両方の潜在力をどう生かすか-
3. 学会等名 京都大学公開講演「アフリカ潜在力プロジェクト」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 日本と世界を考える-(対談)いとう せいこう氏
3. 学会等名 京都精華大学 岡本清一記念講座
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 アフリカ人から見た日本社会の特質
3. 学会等名 JICA研修（北九州国際技術協力協会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 グローバル化時代におけるアフリカの文化政策とアートマネジメント
3. 学会等名 京都精華大学・アートマネジメント育成プログラム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 多様化と地域社会のあり方 - 京都の場合
3. 学会等名 国際京都学協会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石山俊
2. 発表標題 ワーディ・ファーティマにおける土地利用・農業の変容
3. 学会等名 日本中東学会第35回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石山俊
2. 発表標題 地域研究写真のデジタル化・データベース化と研究への活用 - DiPLASプロジェクトの経験
3. 学会等名 シンポジウム『地域コミュニティのメディアテーク』
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石山俊
2. 発表標題 土地利用と農業の変容：現地調査による景観変遷の復元
3. 学会等名 日本沙漠学会秋季シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石山俊
2. 発表標題 アフリカ内陸サハラ・サーヘル文化から考える
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明 第3回国際シンポジウム「一帯一路One Belt, One Road Initiative」アフロ・ユーラシア文明論から考える(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Furusawa Reita
2. 発表標題 The Bioregional ESD Model and SDGs - Local Challenges in Ise-Mikawa Bay Watershed -
3. 学会等名 The 9th International Association of Educating Cities (IAEC) Asia-Pacific Regional Network Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 ガーナ共和国（旧黄金海岸）の植民地文化
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明 第3回国際シンポジウム 「一帯一路One Belt, One Road Initiative」アフロ・ユーラシア文明論から考える（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Furusawa Reita
2. 発表標題 The Traditional Knowledge ESD Model in a Bioregion
3. 学会等名 International Researchers Forum: Perspectives of Research for Intangible Cultural Heritage towards a Sustainable Society（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 シルク・ロード文化遺産の保存
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態 国際シンポジウム：アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の文化財とその保護 - Alain Diop ICOMOS副会長講演（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 仏教美術に現れた遊牧文化の痕跡 “禿頭”、あるいは“髪を剃る” 図像を中心に
3. 学会等名 第26回ヘレニズム～イスラーム考古学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 中央ユーラシアの宗教文化 仏教と様々な宗教
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態国際シンポジウム：「一帯一路One Belt, One Road」アフロ・ユーラシア文明論から考える（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 文理融合 / 異分野連携の中東地域研究：人文学がつなぐ研究と実践の事例より
3. 学会等名 日本中東学会第35回年次大会公開講演会「中東地域における多元的資源観の醸成を目指して」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡邊三津子・遠藤 仁・石山俊・Anas Mohammed Melih・縄田浩志
2. 発表標題 サウディ・アラビア，ワーディ・ファーティマ地域の景観変遷復元を目的とした古写真の利用について 片倉もとこ調査写真の追跡調査（2018年12月～2019年1月）から
3. 学会等名 日本沙漠学会第30回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata
2. 発表標題 Management methods of the alien invasive species mesquites (<i>Prosopis</i> spp.) in regional socio-ecological zones in eastern Sudan
3. 学会等名 The 25th International Symposium on Society and Resource Management (ISSRM) “Sustainability and the Land Ethic in the Anthropocene”（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫・縄田浩志
2. 発表標題 物質文化から見た沙漠社会 アラビア半島オアシスの半世紀
3. 学会等名 第545回みんなばくウィークエンド・サロン 研究者と話そう
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫・縄田浩志・遠藤 仁
2. 発表標題 物質文化から見た沙漠社会 アラビア半島オアシスの半世紀
3. 学会等名 第492回みんなばくゼミナール
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 モロッコの自然環境、農業、物質文化：ナイル河岸、アラビア半島との比較の視点から
3. 学会等名 令和元年度第1回国立民族学博物館共同研究会「物質文化から見るアフロ・ユーラシア沙漠社会の移動戦略に関する比較研究」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 秋田市のローカルエネルギー政策から見る持続可能な資源管理のあり方
3. 学会等名 令和元年度秋田大学公開講座「秋田市のエネルギー政策から資源問題を考える：豊岩浄水場と国見山発電所を例に」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata
2. 発表標題 Ethnographic Collections of Motoko Katakura, a Japanese Female Anthropologist,
3. 学会等名 Exploring 50 Years of Livelihood and Landscape Change in Wadi Fatima, Saudi Arabia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 西アジア・北アフリカ乾燥地における半世紀前のフィールド調査資料を活かす
3. 学会等名 日本沙漠学会令和元年度秋季シンポジウム「半世紀前の写真資料の研究活用：サウディ・アラビア、ワーディ・ファーティマ地域における再調査から
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 中東の砂漠に生きる族長に学ぶ、リーダーシップ像 - 自然資源の稀少性・変動性・偏在性をどう乗り越えるか？
3. 学会等名 第20回秋田備蓄フォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 遊牧民のテントでアラビア文化を体験！
3. 学会等名 コーヒー体験講座
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田浩志・西尾哲夫・竹田多麻子
2. 発表標題 企画展示 サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年」について
3. 学会等名 国際シンポジウム「サウジアラビアと日本をつなぐ文化交流のこれから」（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 ワーディ・ファーティマ地域の景観、物質文化、社会の変化をたどる
3. 学会等名 国際シンポジウム「サウジアラビアと日本をつなぐ文化交流のこれから」（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田浩志・坂田隆
2. 発表標題 企画展示「サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年」について
3. 学会等名 「オアシスを生き抜く知恵」調査関係者による連続講座第1回
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 アフロ・ユーラシア沙漠社会の移動戦略
3. 学会等名 令和元年度第2回国立民族学博物館共同研究会「物質文化から見るアフロ・ユーラシア沙漠社会の移動戦略に関する比較研究」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata
2. 発表標題 Entering a New Era of Partnership and Cooperation of Energy-Related Research: The Institute of Energy Economics of Japan and Akita University
3. 学会等名 Akita University MOU Commemorative Symposium "Changing Middle East and Possibility of the U.S.-Japan Cooperation," (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平田昌弘
2. 発表標題 ユーラシア大陸の視点から見た今後の日本乳文化論
3. 学会等名 日本酪農科学会・2019年度酪農科学シンポジウム熊本大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 齋藤久美子・中山紀子
2. 発表標題 調査報告：アルバニアのベクターシュ教団
3. 学会等名 2019年度第1回アレヴィーノベクタシ研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 モスタファ・ハリリ、佐島隆、中山紀子
2. 発表標題 ヤーレサンのジャム儀礼の映像とアレヴィーのジェム儀礼の撮影ビデオとの比較研究
3. 学会等名 2019年度第2回アレヴィーノベクタシ研究会(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中山紀子・伊藤正晃
2. 発表標題 ハイブリッド・プロジェクトの可能性と課題：国際学科4年目を迎え
3. 学会等名 人文学部2019年度春学期FD講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐島隆、中山紀子
2. 発表標題 イラン・タブリーズ近辺におけるアフレ・ハックおよびヤーレサンに関する調査報告
3. 学会等名 2019年度第3回アレヴィーノベクタシ研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 アフリカ漁民社会の経済的互助組織：タンザニア南部キルワ島の事例
3. 学会等名 第6回沖縄民俗学会・日本文化人類学会（九州・沖縄地区研究懇談会）合同研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 アフリカ漁民社会の互助組織の動態：タンザニア南部キルワ島の事例
3. 学会等名 地域漁業学会第61回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 乾燥熱帯沿岸域の刺し網漁：スーダン紅海北部ドンゴナーブ湾海洋保護区のジュゴン混獲防止にむけて
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 児玉香菜子
2. 発表標題 ラクダ牧畜の現在 内モンゴル額済納旗調査報告
3. 学会等名 第二回ワークショップ「ヒト 動物関係の諸相 人類史における家畜化のプロセスを考える」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 児玉香菜子
2. 発表標題 モーウス砂地における牧畜民の定住化過程 20世紀後半から
3. 学会等名 中央アジア牧畜社会研研究会「定住化」(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 近現代中央アジアの宗務局とウラマー 国際交流と思想形成の素描
3. 学会等名 現代中東地域研究次世代共同研究会2019年度第1回「現代ムスリム知識人の地域横断ネットワークに関する研究 ウズベキスタン・シリア・リビアのウラマー・スーフィーの交流を中心に」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 現代中央アジアのスーフイズムの一様相 ペルシア系住民による病氣治療の儀礼
3. 学会等名 第56回野尻湖クリルタイ（日本アルタイ学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 旧ソ連中央アジアのジェンダー暴力
3. 学会等名 シンポジウム「いま、グローバルにジェンダー暴力を考える」京都人類学研究会・日本文化人類学会近畿地区研究懇親会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 ウズベキスタンってどんな国？ 庶民生活に注目して
3. 学会等名 2019年度春講座・中部大学春日井市連携講座「現代中央アジア論 旧ソ連・遊牧文化・イスラーム」第1回
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 生活の中の遊牧文化 格技と口承文芸
3. 学会等名 2019年度春講座・中部大学春日井市連携講座「現代中央アジア論 旧ソ連・遊牧文化・イスラーム」第2回
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 人々の中のイスラーム
3. 学会等名 2019年度春講座・中部大学春日井市連携講座「現代中央アジア論 旧ソ連・遊牧文化・イスラーム」第3回
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wazaki Haruka
2. 発表標題 Guli Armug'on: Women's local Islamic ritual in Uzbekistan
3. 学会等名 Anthro-Film Lab 37 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和崎聖日・磯貝健一
2. 発表標題 ウズベキスタンでの聞き取り調査報告
3. 学会等名 第13回 近代中央ユーラシア比較法制度史研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 現代ウズベキスタンの結婚と離婚をめぐる「法」意識：慣習化したイスラーム法と政府法令の間で
3. 学会等名 2019年度京都大学東南アジア地域研究研究所CIRAS共同研究「中央ユーラシアのムスリム地域社会における家族と規範：中東との比較分析」第2回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 ウズベキスタンのソ連経験 山岳タジク人社会のスーフィズム的伝統
3. 学会等名 第3回国際シンポジウム「一帯一路One Belt, One Road アフロ・ユーラシア文明論から考える」(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 旧ソ連ウズベキスタンの結婚と離婚
3. 学会等名 日本ムスリム協会12月公開講座
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 ウズベキスタンの音楽と宗教
3. 学会等名 寺子屋シネマvol.17
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 ムハンマド=サーディク・ムハンマド=ユースフの軌跡 ウズベキスタン・イスラームにおける中道と非党派化の思想
3. 学会等名 公開ワークショップ 次世代共同研究会「現代ムスリム知識人の地域横断ネットワークに関する研究 ウズベキスタン・シリア・リビアのウラマー・スーフィーの交流を中心に」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 嶋田義仁
2. 発表標題 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明研究と“ 一帯一路 ” 構想
3. 学会等名 国際シンポジウム「一帯一路」と中国周辺少数民族社会の変容（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 嶋田義仁
2. 発表標題 モーリタニアにおけるサハラ文明（交易・オアシス・牧畜・イスラーム）
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明 第二回国際シンポジウム：アフロ・ユーラシアの現代動態
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 嶋田義仁
2. 発表標題 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代変容
3. 学会等名 第4回アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム「西洋海洋中心文明のグローバル化とアジア・アフリカ社会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坂田隆
2. 発表標題 ヒトの暑熱対応の性差 衣への理学的アプローチ
3. 学会等名 シンポジウム「沙漠への適応と生活世界の形成－文理共創的視点から考える現代中東地域研究」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坂田隆
2. 発表標題 日中戦争期の駱駝輸送についての外務省による研究
3. 学会等名 第2回アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明研究会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坂田隆
2. 発表標題 ラクダのはなし
3. 学会等名 第39回宮城県老人クラブ大会記念講演
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 サハラ交易主要都市の世界文化遺産データベース構築と保存・修復の実態 その ジェンネの建築活動の近代化と無形文化の役割
3. 学会等名 第55回日本アフリカ学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 THE FUTURE OF AFRO-ASIAN RELATIONSHIPS African Potentialities and Lesson from Asian Experience
3. 学会等名 INAUGURAL WORKSHOP ON AFRO-ASIAN STUDIES INITIATIVES (AASI) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 多様化する現代コミュニティと建築空間 明日の地域社会のあり方を考える
3. 学会等名 第71回京都大学未来フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ウォーレ・ショインカ、ウスビ・サコ
2. 発表標題 グローバル化された世界の未来、人間らしくいきること
3. 学会等名 朝日教育会議 グローバル化された世界における「表現」の未来（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山口周、遠山正道、山添藤真、小山田徹、今井大介、ウスビ・サコ、長谷部貴美、町田裕治
2. 発表標題 社会変革を引き起こす大学の抽象教育に求められるもの
3. 学会等名 京大がアートで社会にイノベーションを興す ARTS ECONOMICS KYOTO 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 アフリカにおける伝統の継承と現代的展開 ～西アフリカ・マリ共和国の子どもと文化を通して～
3. 学会等名 第2回岡山県保育士養成協議会保育士養成研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 大学における多様性の課題と意識改革 留学生から大学教員までの経験を通して
3. 学会等名 公益財団法人大学コンソーシアム京都 主催第24回FDフォーラム 大学におけるダイバーシティ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 Keynote Address Asia-Africa Future Knowledge Perspective-African Potentialities and Asian Experiences
3. 学会等名 Africa-Asia 'A New Axis of Knowledge' University of Dar es Salaam (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 Living Practice: Distilling Local Knowledge of Cohabitation The case of Mali courtyard house and Kyoto Townhouse
3. 学会等名 Africa-Asia 'A New Axis of Knowledge' Second Edition (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 A New Phenomenon for Community Regeneration in Japan - Elementary Schools' Renovation as Center of U-turn and I turn Movement
3. 学会等名 Schloss Bedheim, Germany Hosted by IBA (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 The role of Architecture Conservation for Communities' Continuity Example of Historical Towns Djenne and Kyoto
3. 学会等名 Heritage and Identity Hosting by Technical University Berlin (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 Redesigning Kyoto Community spaces through an experimental project - Honmachi Escola -
3. 学会等名 Forum Design Paris (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 Les Afrique(s) en Asie(s) - Africa(s) in Asia(s) The raise of African cultural contents as part of Japan's pop culture - Role of African scholars for cultural knowledge transfer in Japanese Society-
3. 学会等名 [CRAA-ETRE]"Comprendre les relations entre l'Afrique et l'Asie" EHESS/France-Japan Foundation (PSL) EHESS-IMAF (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 The Economic Approaches for African Partners from the East (FOCAC and TICAD) Divergences and Convergences from a personnel point of view
3. 学会等名 Towards TICAD 7: Consolidating the African Voices (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 The Role of Traditional Builders and Intangible Culture in Djenne; ' World Heritage Conservation and Tourist Activities Revitalization
3. 学会等名 21th International Symposium "HERITAGE as a BUILDER of PEACE 2019" (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oussouby Sacko
2. 発表標題 DESIGN INTERACTION AROUND THE GLOBE
3. 学会等名 Lecture at Chu Hai College(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 コーヒー文化の起源・伝播・拡散：適応への人文的アプローチ
3. 学会等名 人間文化研究機構「現代中東地域研究」国立民族学博物館拠点・秋田大学拠点シンポジウム「沙漠への適応と生活世界の形成 文理共創的視点から考える現代中東地域研究」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata, Tani, K., Gaiballa, AK., Gaiballa, AK., Mohammad, AB. and Hoshino, B.
2. 発表標題 Using GIS and remote sensing to identify seasonal movements, habitat preference, and diet selection of one-humped camel in a coastal plain, south of Port Sudan, Red Sea Coast of Sudan
3. 学会等名 The 5th Conference of the International Society of Camelid Research and Development (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 砂漠の族長に学ぶ、リーダーシップ像 資源の少なさ、不安定さ、争いをどう乗り越えるか？
3. 学会等名 東北地域産業技術連携推進会議事務局『平成30年度工業系支援機関ネットワーク研修会in東北』（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 マングローブリンにおけるヒトコブラクダ対策：スーダン東部紅海沿岸における持続的な生計活動と環境保全の両立に向けて
3. 学会等名 草炭緑化協会講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 半世紀前の現地収集資料と研究内容の社会的活用と共有化のプロセス アラブ・イスラーム社会における“弱い社会的紐帯の強さ”の実践として
3. 学会等名 沙漠誌分科会研究会/人間文化研究機構「現代中東地域研究」秋田大学拠点「サウディアラビア、ワーディ・ファーティマ半世紀前の記録とその活用に向けた方法論の検討」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 縄田浩志・郡司みさお・藤本悠子
2. 発表標題 “見られる女”より“見る女” サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究「物質文化から見るアフロ・ユーラシア沙漠社会の移動戦略に関する比較研究」2018年度第2回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 ワーディ・ファティマで撮影された半世紀前の写真からわかること
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究「物質文化から見るアフロ・ユーラシア沙漠社会の移動戦略に関する比較研究」2018年度第1回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 数珠としての琥珀：イスラーム教、キリスト教、仏教をつなぐ、先史と近代をつらぬく
3. 学会等名 第4回アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム「西洋海洋中心文明のグローバル化とアジア・アフリカ社会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata.
2. 発表標題 Environmental conservation with foreign workers: A case analysis of nature reserve management in Saudi Arabia
3. 学会等名 International Association for Society and Natural Resources (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata
2. 発表標題 Local craftsmen's understanding of imported varieties of black corals for Muslim prayer beads in Cairo, Egypt
3. 学会等名 4th Asia-Pacific Coral Reef Symposium 2018 "Coral Reefs of the Asia-Pacific: Working together amidst contemporary challenges" (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡邊三津子・石山俊・遠藤仁・縄田浩志
2. 発表標題 衛星画像と地図資料の比較によるサハラ・オアシスにおける半世紀の景観変化
3. 学会等名 日本沙漠学会第29回学術大会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 アラビア半島オアシス生活の半世紀 現地社会への成果還元に向けて
3. 学会等名 地域研究画像デジタルライブラリ「デジタル写真データベースが拓く学術活動の未来 蓄積された学術資料をいかに活用するのか」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 縄田浩志「サウディ・アラビア紅海沿岸ジグダで販売される黒サンゴ製の数珠について
3. 学会等名 日本中東学会第34回年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata.
2. 発表標題 Archives of the Motoko Katakura Middle East Collections
3. 学会等名 Special Lecture, King Faisal Center for Research and Islamic Studies（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 紅海沿岸における黒サンゴ採取の現状と課題 エジプト、サウディ・アラビア、スーダンの事例から
3. 学会等名 第27回日本ナイル・エチオピア学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中山紀子
2. 発表標題 女性と水源信仰 トルコ、イラン、ウズベキスタンをめぐる地域横断的試論
3. 学会等名 2018年度第1回アレヴィーノベクタン研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中山紀子
2. 発表標題 トルコ共和国初代大統領ムスタファ・ケマル・アタテュルクの世俗化政策
3. 学会等名 第4回アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平田昌弘
2. 発表標題 牧畜・乳文化から日本中山間地の活性化を考える
3. 学会等名 日本学術会議食料科学委員会畜産分科会・日本草地学会共催公開シンポジウム 放牧・酪農による中山間地活性化の可能性を探る
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masahiro Hirata
2. 発表標題 Characteristics of Milk Culture in Bulgaria from the World's milk cultural perspectiv
3. 学会等名 International Conference of Pastoralism: Traditions and Modernity -Anthropological, Ecological and Social Aspects- (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平田昌弘 .
2. 発表標題 辞典への新たな視点 事典をも内包した新しい文化辞典の試み - アムド系チベット牧畜民の乳文化の事例から -
3. 学会等名 チベット牧畜文化辞典パイロット版公開記念ワークショップ『チベット牧畜辞典の未来を語る』
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石山俊, 宮寄英寿, 安田裕
2. 発表標題 ミャンマー中央乾燥地における生計向上と村落開発の研究
3. 学会等名 日本沙漠学会第29回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石山俊、宮寄英寿、安田裕
2. 発表標題 ミャンマー中央乾燥地における生計向上と村落開発の研究
3. 学会等名 鳥取大学乾燥地研究所共同研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石山俊
2. 発表標題 サハラ・オアシスの文化：灌漑とナツメヤシ
3. 学会等名 2018年度日本沙漠学会乾燥地農学分科会講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石山俊
2. 発表標題 オアシス農耕の現在：食への農学的アプローチ
3. 学会等名 2018年度人間文化研究機構 現代中東地域研究、国立民族学博物館拠点・秋田大学拠点シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 児玉香菜子
2. 発表標題 中国内モンゴル西部荒漠地域におけるラクダ利用変化とその背景
3. 学会等名 第2回中央アジア牧畜社会研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 植民地起源都市アクラにおける漁業集団の社会組織：オスの事例から
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明 第二回国際シンポジウム：アフロ・ユーラシアの現代動態（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 ギニア湾岸イギリス植民地都市アクラの都市形成
3. 学会等名 第4回アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム：西洋海洋中心文明のグローバル化とアジア・アフリカ社会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 カーナ共和国ガ漁師の延縄漁具：アクラ首都圏オス地区の事例
3. 学会等名 日本アフリカ学会第55回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Reita Furusawa
2. 発表標題 Learning Bio-Cultural Diversity through Traditional and Local Knowledge for ESD/SDGs: A case of the Ise-Mikawa Bay Watershed ESD-TK Projec
3. 学会等名 Global RCE Conference “Education for the Sustainable Development” (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 漁民とジュゴンの共存型海洋保護区にむけて スーダン紅海北部ドンゴナーブ湾の漁撈活動
3. 学会等名 第27回日本ナイル・エチオピア学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Gaiballa Abdelmoneim Karamalla, Mahadalle Omar Abdulkadir, Hiroshi Nawata, Ryo Nakamura, and, Kotaro Ichikawa
2. 発表標題 Some Aspects of Socio-economic Characteristics of the Fisheries in the Northern Sudanese Red Sea Coast
3. 学会等名 第27回日本ナイル・エチオピア学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 旧海洋イスラーム王国キルワ島（タンザニア）の海洋民族誌
3. 学会等名 九州人類学研究会 / 九州・沖縄地区研究懇談会 平成30年度研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 海の豊かさは誰が守る 海女文化から考える沿岸保全
3. 学会等名 中部ESD拠点2019「SDGsフォーラム」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 刺し網漁とジュゴン混獲問題 スーダン紅海北部ドンゴナーブ湾海洋保護区の事例
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明 第二回国際シンポジウム：アフロ・ユーラシアの現代動態
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 漁民とジュゴンの共存型海洋保
3. 学会等名 第27回日本ナイル・エチオピア学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ボルジギン・ブレンサイン
2. 発表標題 吉林省伊通満族自治県調査記
3. 学会等名 満族史研究会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ボルジギン・ブレンサイン
2. 発表標題 国際化環境におけるアラシャン地域研究（基調講演）
3. 学会等名 把握“ 一帯一路 ” 新機遇促進阿拉善区域發展及産学深度融合高峰論壇
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ボルジギン・ブレンサイン
2. 発表標題 鉄道建設と内モンゴル自治区の国際化について
3. 学会等名 首届阿爾山論壇（内モンゴル自治区政府主催）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ボルジギン・ブレンサイン
2. 発表標題 1950-1960年代における中国の辺境資源調査の民族学的意義-「内蒙古宇夏総合考察報告」を事例として
3. 学会等名 内モンゴル師範大学（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ボルジギン・ブレンサイン
2. 発表標題 内モンゴルイメージの国際性-“スーホの白い馬”を事例として
3. 学会等名 内モンゴル師範大学美術学院（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ボルジギン・ブレンサイン
2. 発表標題 “一帯一路”構想と国境に跨る民族
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明 第二回国際シンポジウム アフロ・ユーラシアの現代動態
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 中国支配過程における鮮卑人の服飾文化の変化について
3. 学会等名 国際シンポジウム「一帯一路」と中国周辺少数民族社会の変容
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高嶋美穂、谷口陽子、中川原育子、熊澤雄基、多賀祐喜、服部俊治
2. 発表標題 石造菩薩頭部彩色の自然科学的調査
3. 学会等名 日本文化財科学会第35回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 新疆ウイグル自治区の仏教美術に表された " 禿頭 " あるいは " 髪を剃る " 図像について
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明第二回国際シンポジウム (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 IKUKO NAKAGAWARA,
2. 発表標題 Kizil Cave 110 (Treppen-hohle) Revisited: New Decipherments of Tocharian Inscriptions and New Identifications
3. 学会等名 AAS (Association for Asian Studies)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 嶋田義仁
2. 発表標題 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態分析 「近代世界システム」との相克 」について
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム第1回「中央アジア・中東文明の近代史」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 嶋田義仁
2. 発表標題 人類文明史の再構築から
3. 学会等名 公開セミナー-木魂する科学とところ (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 嶋田義仁
2. 発表標題 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態
3. 学会等名 第2回アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 嶋田義仁
2. 発表標題 モーリタニアのサハラ・オアシス;の砂漠化と南部アフリカの岩絵調査
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明研究会, 第3回アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坂田隆
2. 発表標題 清朝から民国期の中国内陸での遠隔地交易
3. 学会等名 第3回アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata
2. 発表標題 A case of archives in the Motoko Katakura Middle East Collections
3. 学会等名 International Symposium “Preservation of Cultural Heritage in the Arabian Peninsula” (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata
2. 発表標題 Local classification and utilization of the Red Sea black coral: A case study of the traditional fishery, Sinai Peninsula, Egypt,
3. 学会等名 Special Lecture at Red Sea University (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 遠藤仁・縄田浩志
2. 発表標題 エジプト、ハーン・ハリリーにおける黒サンゴ及び木製数珠製作工房とその技術
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究「物質文化から見るアフロ・ユーラシア沙漠社会の移動戦略に関する比較研究」2017年度第2回研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata
2. 発表標題 Methods for Selecting and Processing Red Sea Black Coral into Muslim Prayer Beads in Cairo, Egypt
3. 学会等名 The International Union of Anthropological and Ethnological Sciences at Jagiellonian University
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 西アジア・北東アフリカのコーヒー文化に見る移動戦略
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究「物質文化から見るアフロ・ユーラシア沙漠社会の移動戦略に関する比較研究」2017年度第1回研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata.
2. 発表標題 Humans and One-humped Camels Relationships in Arid Tropical Mangrove Ecosystems
3. 学会等名 International Symposium on Society and Resource Management (ISSRM) International Association for Society and Natural Resources at Umeiring University
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡邊三津子・古澤文・石山俊・遠藤仁・縄田浩志
2. 発表標題 複数時期の衛星画像からみたサウジアラビア、ワディ・ファーティマの土地被覆変化
3. 学会等名 日本沙漠学会第28回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 黒サンゴ製の数珠“sibhat al-yusr”の特質について
3. 学会等名 日本中東学会第33回年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 縄田浩志
2. 発表標題 ウシ搾乳への音声的介入 スーダン東部ベジャ族における民族誌的事例からの考察
3. 学会等名 討論会「西アジアにおける家畜化と乳利用」(第2回目集会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroshi Nawata
2. 発表標題 Ecological, Social, Cultural and Religious Responses of Local People to Drought: A case analysis of rain-beg ritual ceremony among the Bani Amir on the Sudanese-Eritrean border of the Red Sea coast
3. 学会等名 International Symposium "Resource Management and Conflict Resolution: Cases from Muslim Societies in Northeast Africa" (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 ウスビ・サコ「サハラ交易主要都市都市の世界文化 遺産データベース構築と保存・修復の 実態 その ジェンネ大工の無形文化遺産 としての建設・修復儀式について
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 中国における西アフリカ系商人のコミュニティ形成とビジネスの実態-広州に生きるアフリカンコミュニティとチョコレートタウンに焦点をあてる-
3. 学会等名 日本アフリカ学会第 54 回学術大会 公開講演会 「アフリカ新商売往来 ~Money-Go-Round~」(パネスディスカッション)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Oussouby SACKO
2. 発表標題 Les recits du projet de renovation "Escola" et l'impact des transformations communautaires sur le tissu urbain; Le cas des MACHIYA et NAGAYA de Kyoto
3. 学会等名 Les 2es Rencontres des Chercheurs Francophones du Kansai) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kenji YOSHIDA, Justice BROBBEY, Shozo AKUTSU, Flexon MIZINGA, Tetsuya KAMEI, Taku IIDA, Oussouby SACKO, Haruka WAZAKI
2. 発表標題 The Museum as a Guardian of Cultural Heritage
3. 学会等名 Workshop at Manhyia Palace Museum (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 チャイニーズ・ドリームの光と影 中国におけるアフリカ系コミュニティの形成と交易
3. 学会等名 立命館大学国際言語文化研究所主催：2017年度立命館大学国際言語文化研究所連続講座「越境する民 接触 / 排除」【第4回】
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 中国におけるアフリカ女性商人
3. 学会等名 2017年度アジア経済研究所「アフリカにおける女性の国際労働移動」研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ウスビ・サコ
2. 発表標題 西アフリカの文化遺産の保護・修復と近代世界システムのパラダイム・シフト:ジェンネの大工の世界観と泥の建築行動を通して
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム 第2回
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oussouby SACKO
2. 発表標題 Restaurer les habitations par temps durable (exemples maliens et japonais)
3. 学会等名 Seminaire EHESS-MUCEMLAB (La geste technique) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ブレンサイン
2. 発表標題 記録メモリが語る満蒙の多民族農村社会 満鉄と満洲国による農村社会調査についてー
3. 学会等名 第二回東アジア日本研究者協議会国際学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ブレンサイン
2. 発表標題 《二戦結束之前有閑蒙古社会的日文実態調査資料彙編》の出版与其研究価値
3. 学会等名 中国中央民族大学蒙古学文献国際学術会議 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 王昭君は民族団結のシンボルか
3. 学会等名 静岡大学人文社会科学部・アジア研究センター・大阪成蹊短期大学観光学科共同主催国際シンポジウム「東アジアの観光動態に関する学際的研究」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 楊海英
2. 発表標題 Mongolian Genocide During the Chinese Cultural Revolution
3. 学会等名 80th anniversary of political victims commemoration (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ブレンサイン
2. 発表標題 国際化と内モンゴルの地域多様性に関する再認識
3. 学会等名 オルドス市公益講演（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ブレンサイン
2. 発表標題 開放蒙地と東三省
3. 学会等名 吉林師範大学講演（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ブレンサイン
2. 発表標題 民族学：自らを知り社会を知る学問
3. 学会等名 内蒙古民族大学蒙古学学院講演（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ブレンサイン
2. 発表標題 センゲリンチンと内モンゴル近代史
3. 学会等名 内蒙古民族大学僧格林沁研究中心学術講座（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ブレンサイン
2. 発表標題 民族学と地域研究
3. 学会等名 内蒙古民族大学蒙古学学院講演（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 平田昌弘
2. 発表標題 辞典への新たな視点 事典をも内包した新しい文化辞典の試み - アムド系チベット牧畜民の乳文化の事例から -
3. 学会等名 チベット牧畜文化辞典パイロット版公開記念ワークショップ「チベット牧畜文化辞典の未来を語る」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平田昌弘
2. 発表標題 牧畜の一元発達史論 - 西アジア牧畜と北アジア牧畜の対比から -
3. 学会等名 第2回アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平田昌弘
2. 発表標題 乳文化の科学 - ユーラシア大陸の事例を通じて
3. 学会等名 ちくたい教養人間講座：技術と文化
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中山紀子
2. 発表標題 ウズベキスタンの水源信仰についての基礎調査報告
3. 学会等名 2017年度第1回アレヴィーノベクタシ研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中山紀子
2. 発表標題 トルコ文化の近代史
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム第1回「中央アジア・中東文明の近代史」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中山 紀子
2. 発表標題 アタテュルクのイスラーム政策：トルコの近代化と女性をめぐる議論を中心に
3. 学会等名 2017年度第2回アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム「アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 スーダン・ドンゴナーブ湾海洋保護区での漁民とジュゴンの共存にむけて
3. 学会等名 第3回シンポジウム「アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 旧海洋イスラーム王国キルワ島にみるスワヒリ海村社会の近年の変化：ジニ信仰と海村経済を中心に
3. 学会等名 第2回シンポジウム「アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 隠された文化遺産：タンザニア南部キルワ島の世界遺産をめぐる観光と信仰
3. 学会等名 文化遺産国際協力コンソーシアム 第8回アフリカ分科会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村亮
2. 発表標題 スワヒリ海岸キルワ島における魚需要の増加と海村経済の展開
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 中央アジアの近代史
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム第1回「中央アジア・中東文明の近代史」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 「婚資」問題にみるソ連中後期のウズベキスタンにおけるイスラーム 宗務局、スーフィズム、伝統的ハナフィー派
3. 学会等名 CIRAS共同研究「社会主義を経たイスラーム地域のジェンダー・家族・モダニティ」研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 旧ソ連・中央アジアのスーフィズムと病氣治療 アフマド・ヤサヴィーの現代的意義に寄せて
3. 学会等名 2017年度日本中央アジア学会年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 Searching for “our Islam” : Sufism, tarqa and government policies towards Islam in post-Soviet Central Asia
3. 学会等名 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 近代日本における武道 武徳会・敗戦・GHQ
3. 学会等名 立命館大学「戦争の歴史と現在」特別講演(B)(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 中央アジアの遊牧文化と現代 生活・格技・喉歌の映像記録
3. 学会等名 シルクロード国際学術研究集会「シルクロードとの出会い」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 和崎聖日
2. 発表標題 後藤絵美「ニカーブをまとうまで 現代イスラームにおける「自己選択」の諸相」/ 帯谷知可「ルモルとヒジョブの境界 社会主義的世俗主義を経たイスラーム・ヴェール問題」/ 野中葉「インドネシアにおけるハラール化粧品の隆盛と女性たちの美意識」に対するコメント
3. 学会等名 ワークショップ「装いと規範」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 WAZAKI Seika
2. 発表標題 Yaponiyadagi islomshnoslikni tanishtirishh (日本におけるイスラーム研究の紹介)
3. 学会等名 Ilmiy seminar atToshkent Islom universiteti (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 キジル石窟の仏伝図に関する一考察－図像系統と石窟内の位置を中心に
3. 学会等名 第24回ヘレニズム～イスラーム考古学研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 旅順博物館蔵草原考古文物調査報告
3. 学会等名 草原考古研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川原育子
2. 発表標題 克孜;第224窟(第3区摩耶窟)壁画原之研究
3. 学会等名 "新疆出土文獻與絲綢之路" 國際學術研討會(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 ガーナ共和国アクラ沿岸部の延縄漁に関する調査（中間報告）
3. 学会等名 第3回シンポジウム「アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古澤礼太
2. 発表標題 ガーナの植民地起源都市文化 - アクラのカ族の祭礼事例を中心に
3. 学会等名 第1回シンポジウム「アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石山俊
2. 発表標題 サーヘル国家チャドの内陸化と孤立化
3. 学会等名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態シンポジウム 第2回「アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石山俊・宮崎英寿・安田裕
2. 発表標題 ミャンマー中央乾燥地における複数生業による生計向上のための村落開発についての研究
3. 学会等名 鳥取大学乾燥地研究センター平成29年度共同研究発表会（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石山俊
2. 発表標題 サハラ・オアシスのナツメヤシ文化および小堀巖先生写真アーカイブの検討
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究「物質文化から見るアフロ・ユーラシア沙漠社会の移動戦略に関する比較研究」2017年度第1回研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡邊三津子・古澤文・石山俊・遠藤仁・縄田浩志
2. 発表標題 複数時期の衛星画像からみたサウジアラビア、ワディ・ファーティマの土地被覆変化
3. 学会等名 日本沙漠学会第28回学術大会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計80件

1. 著者名 楊海英	4. 発行年 2023年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 764
3. 書名 羊と長城; 草原と大地の 百年 民族誌	

1. 著者名 楊海英	4. 発行年 2021年
2. 出版社 筑摩選書	5. 総ページ数 408
3. 書名 紅衛兵とモンゴル人大虐殺 草原の文化大革命	

1. 著者名 楊海英	4. 発行年 2021年
2. 出版社 筑摩新書	5. 総ページ数 216
3. 書名 内モンゴル紛争 危機の民族地政学	

1. 著者名 楊海英	4. 発行年 2020年
2. 出版社 徳間書店	5. 総ページ数 280
3. 書名 世界を不幸にする直ミンチ主義国家・中国	

1. 著者名 楊海英	4. 発行年 2020年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 326
3. 書名 モンゴルの親族組織と政治祭祀 オボク・ヤス(骨)構造	

1. 著者名 楊海英・于田ケリム	4. 発行年 2021年
2. 出版社 文春新書	5. 総ページ数 203
3. 書名 ジェノサイド国家 中国の真実(于田ケリムと共著),	

1. 著者名 楊海英編著	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Shizuoka University	5. 総ページ数 207
3. 書名 A Mongolian version of the Old Testament from Ordos, Asian Studies Special Issue 8 (アジア研究・別冊8)	

1. 著者名 楊海英編著	4. 発行年 2022年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 478
3. 書名 モンゴル人ジェノサイドに関する基礎資料14 - 絵画・写真・ポスターが物語る中国の暴力』(内モンゴルの文化大革命14)	

1. 著者名 楊海英編著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 825
3. 書名 モンゴル人ジェノサイドに関する基礎資料13 - 加害者に対する清算から被害状況をよむ(内モンゴルの文化大革命13)	

1. 著者名 楊海英編著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 343
3. 書名 モンゴルの仏教寺院 毛沢東とスターリンが創出した廃墟	

1. 著者名 平田昌弘	4. 発行年 2022年
2. 出版社 農山漁村文化協会、	5. 総ページ数 420
3. 書名 西アジア・シリアの食文化論	

1. 著者名 菊地大樹・丸山真史編著(平田昌弘共著)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 農山漁村文化協会	5. 総ページ数 212
3. 書名 家畜の考古学：古代アジアの東西交流	

1. 著者名 横山智編著 平田共著	4. 発行年 2022年
2. 出版社 農山漁村文化協会	5. 総ページ数 235
3. 書名 世界の発酵食をフィールドワークする	

1. 著者名 渡辺悌二・白坂蕃編著(平田昌弘共著)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 星雲社	5. 総ページ数 414
3. 書名 変わりゆくパミールの自然と暮らし - 持続可能な山岳社会に向けて -	

1. 著者名 野林厚志編(平田昌弘共著)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善	5. 総ページ数 692
3. 書名 世界の食文化百科事典	

1. 著者名 日本沙漠学会編 平田共著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善	5. 総ページ数 534
3. 書名 沙漠学事典	

1. 著者名 水木千春、朴恵淑、福井弘道、古澤礼太、川村真也(朴恵淑、矢野竹男〔編〕)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 風媒社	5. 総ページ数 226
3. 書名 持続可能な三重創生とSDGs経営(第3章 流域圏SDGs評価モデル~三重県の流域圏)	

1. 著者名 古澤礼太・宗宮弘明(編)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 風媒社	5. 総ページ数 88
3. 書名 プラスチック社会を考える 産官学民によるSDGs都市づくりに向けて	

1. 著者名 行本 正雄、古澤 礼太、工藤 健、上野 薫、金政 真、吉村 和也、山羽 基、平沢 太郎、河内 信幸、羽後 静子、伊藤 守弘、藤丸 郁代	4. 発行年 2020年
2. 出版社 コロナ社	5. 総ページ数 144
3. 書名 SDGs時代の持続学のすすめ - あてになる人間への挑戦 - (第1章 SDGs時代におけるESDの役割)	

1. 著者名 中村亮 (田中樹・宮崎英寿・石本雄大編)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 摂南大学	5. 総ページ数 167
3. 書名 フィールドで出会う風と人と土6 (「アフリカの河童」)	

1. 著者名 中村亮	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 534
3. 書名 沙漠学事典 (食魚)	

1. 著者名 中村亮	4. 発行年 2020年
2. 出版社 総合地球環境学研究所	5. 総ページ数 123
3. 書名 フィールドで出会う風と人と土5 (海を耕す: 福井県の海女の里海)	

1. 著者名 日本沙漠学会（編）石山俊、児玉香菜子、小長谷有紀ほか20名（編集委員）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本沙漠学会	5. 総ページ数 534
3. 書名 沙漠学事典	

1. 著者名 石山俊	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本沙漠学会	5. 総ページ数 504
3. 書名 沙漠学事典（「サハラ交易」、「植民地支配と独立」、「オアシス アフリカ」、「食 ナツメヤシ」、「食 オアシス：アフリカ」）	

1. 著者名 石山俊（野林厚志ほか編）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 716
3. 書名 世界の食文化百科事典（西アジアの食生活 - マグリブ、オアシスと甘さ）	

1. 著者名 石山俊	4. 発行年 2020年
2. 出版社 誠文堂新光社	5. 総ページ数 112
3. 書名 BIOSTORY 34（「何にでも使える砂漠の植物」）	

1. 著者名 石山俊（西尾哲夫・東長靖〔編著〕）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 392
3. 書名 中東・イスラーム世界への30の扉（「変貌するオアシス農業 - 市場経済とナツメヤシの品種多様性をめぐって」）	

1. 著者名 中川原郁子（日本砂漠学会編）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 504
3. 書名 沙漠学辞典（「仏教」「壁画ユーラシア」）	

1. 著者名 中川原育子（六度集経研究会）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 法蔵館	5. 総ページ数 510
3. 書名 全訳 六度集経 仏の前世物語（「コラム『六度集経』と仏教美術」）	

1. 著者名 ウスビ・サコ、清水貴夫編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 青幻舎	5. 総ページ数 208
3. 書名 現代アフリカ文化の今 15の視点から、その現在地を探る	

1. 著者名 ウスビ・サコ	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞	5. 総ページ数 223
3. 書名 アフリカ出身 サコ学長 日本を語る	

1. 著者名 ウスビ・サコ	4. 発行年 2021年
2. 出版社 文芸春秋	5. 総ページ数 191
3. 書名 アフリカ人学長、京都修行中	

1. 著者名 ウスビ・サコ	4. 発行年 2021年
2. 出版社 世界思想社	5. 総ページ数 173
3. 書名 ウスビ・サコの「まだ、空気読めません」	

1. 著者名 縄田浩志編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 181
3. 書名 サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年 「みられる私」より「みる私」	

1. 著者名 ブレンサイン（中見立夫、加藤直人、広川佐保編）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 加藤直人研究代表「科研基盤(B)(一般)」研究会	5. 総ページ数 167
3. 書名 「帝国」の秩序と再編：モンゴルの文書と史跡の探求（「ピチエーチーナワンナムジルと遺稿について」）	

1. 著者名 ブレンサイン（金光林編）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 320
3. 書名 東アジア理解講座 その歴史・文明・自然・環境（「近現代におけるモンゴル世界の多様化」）	

1. 著者名 曹榮梅	4. 発行年 2023年
2. 出版社 中部大学中部高等学術研究所	5. 総ページ数 294
3. 書名 内モンゴルにおける碾茶文化－茶馬交易が結んだ乳と茶－ アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明叢書19	

1. 著者名 Masahiro Hirata	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer Nature Singapore Pte Ltd., Singapore	5. 総ページ数 350
3. 書名 Masahiro Hirata, 2020. Milk Culture in Eurasia - Constructing a Hypothesis of Monogenesis-Bipolarization	

1. 著者名 江原絢子・平田昌弘・和仁皓明（編著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中央法規出版	5. 総ページ数 36
3. 書名 近代日本の乳食文化 - その経緯と定着 - （明治150年記念論集）	

1. 著者名 石井潤・中村亮（編著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 福井県里山里海湖研究所	5. 総ページ数 96
3. 書名 若者と研究者がみた北潟湖：その生物文化多様性の魅力	

1. 著者名 古澤礼太	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中部大学 中部大学ブックシリーズ Acta	5. 総ページ数 89
3. 書名 持続可能な発展への挑戦 中部ESD拠点が歩んだ国連ESDの10年	

1. 著者名 行本 正雄、工藤 健、上野 薫、金政 真、吉村 和也(編)、古澤礼太、山羽 基、平沢 太郎、河内 信幸、羽後 静子、伊藤 守弘、藤丸 郁代	4. 発行年 2019年
2. 出版社 コロナ社	5. 総ページ数 144
3. 書名 SDGs時代の持続学のすすめ - あてになる人間への挑戦	

1. 著者名 縄田浩志(編)、石山俊、坂田隆、渡邊三津子、アナス・ムハンマド・メレー、河田尚子、藤本悠子、遠藤仁、石山俊、西本真一、郡司みさお、片倉邦雄、坂田隆、竹田多麻子、古澤文、西尾哲夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 181
3. 書名 サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年 「みられる私」より「みる私」	

1. 著者名 薩仁格日勒・朝格吐(編)、児玉香菜子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 民族出版社	5. 総ページ数 617
3. 書名 蒙古民俗文化研究	

1. 著者名 今村薫(編)、児玉香菜子、廣田千恵子、ソロンガ、斎藤成也、地田 徹朗、タルガルバイ・コヌスバエフ、久米 正吾、星野仏方	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中央アジア牧畜社会研究叢書 1 牧畜社会の動態	5. 総ページ数 113
3. 書名 名古屋学院大学総合研究所	

1. 著者名 長沢栄治、森田豊子、小野仁美、竹村和朗、嶺崎寛子、市岡卓、小林寧子、浦野修平、大河原知樹、阿部尚史、磯貝真澄、後藤絵美、村上薫、宇野陽子、田中友紀、大杉里美、鳥山純子、山崎和美、細谷幸子、和崎聖日	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 272
3. 書名 イスラーム・ジェンダー・スタディーズ 1 結婚と離婚	

1. 著者名 佐島隆、中山紀子、木村敏明、山口昭彦、石川真作、齋藤久美子、上岡弘二、モスタファ・ハリリ (Mostafa Khalili)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 大阪国際大学	5. 総ページ数 275
3. 書名 アレヴィー諸集団の境界と認識のコンフリクト及びエスニシティの変容 中東と欧米	

1. 著者名 嶋田義仁、金子務、日本科学協会、伊東俊太郎、山口義久、田中一郎、三村太郎、正木晃、植木雅俊、前野隆司、安藤礼二、荒川紘、武富保	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 278
3. 書名 科学と宗教 対立と融和のゆくえ	

1. 著者名 縄田浩志、岸上伸啓	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 はじめて学ぶ文化人類学 人物・古典・名著からの誘い	

1. 著者名 平田昌弘、玖村朗人、若松純一、八田一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 アイ・ケイコーポレーション	5. 総ページ数 337
3. 書名 乳肉卵の機能と利用	

1. 著者名 山田勇、赤嶺純、平田昌弘	4. 発行年 2018年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 277
3. 書名 生態資源 - モノ・場・ヒトを生かす世界	

1. 著者名 平田昌弘、本出ますみ	4. 発行年 2018年
2. 出版社 スピナッツ出版	5. 総ページ数 336
3. 書名 羊の本	

1. 著者名 平田昌弘、高倉浩樹	4. 発行年 2018年
2. 出版社 古今書院	5. 総ページ数 130
3. 書名 寒冷アジアの文化生態史	

1. 著者名 石山俊、田中樹、宮崎英寿、石本雄大、關野伸之、飯塚明子、真貝理香、手代木功基、村山修二郎、渡邊芳倫、大谷通高、高木佳子、岡本侑樹、寺田匡宏、砂野唯、庄子元、関根良平、風戸真理、大門碧、大平和希子、山根裕子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 総合地球環境学研究所 (デジタル出版)	5. 総ページ数 130
3. 書名 フィールドで出会う風と人と土4	

1. 著者名 サラングレル・児玉香菜子・アルタンチェェグ	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Tod nomin gerel tob	5. 総ページ数 204
3. 書名 .ジネーの父たちの口述史（モンゴル語）	

1. 著者名 古澤礼太	4. 発行年 2019年
2. 出版社 風媒社	5. 総ページ数 89
3. 書名 持続可能な発展への挑戦：中部ESD拠点が歩んだ国連ESDの10年	

1. 著者名 中村亮、古澤礼太、今井一郎、田原範子、田村卓也、古澤礼太、伊藤千尋、藤本麻里子、大石高典、萩原幹子、山田孝子、中川千草	4. 発行年 2019年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 304
3. 書名 アフリカ漁民文化論 水域環境保全の視座	

1. 著者名 和崎聖日、浅村卓生、ニゴラ・アフメドヴァ、岡奈津子、帯谷知可、加藤九祚、河原弥生、菊田悠、久保一之、雲和広、甲山治、小松久男、近藤正憲、塩谷哲史、宗野ふもと、ティムール・ダダバエフ、寺山恭輔、樋渡雅人、藤本透子、堀川徹	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 404
3. 書名 ウズベキスタンを知るための60章	

1. 著者名 楊海英	4. 発行年 2019年
2. 出版社 文春新書	5. 総ページ数 218
3. 書名 独裁の中国現代史 毛沢東から習近平まで	

1. 著者名 楊海英	4. 発行年 2018年
2. 出版社 筑摩新書	5. 総ページ数 320
3. 書名 モンゴル人の中国革命	

1. 著者名 楊海英	4. 発行年 2018年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 334
3. 書名 最後の馬賊 帝国 の将軍・李守信	

1. 著者名 楊海英	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 208
3. 書名 「知識青年」の1968年 中国文化大革命と辺境	

1. 著者名 楊海英	4. 発行年 2019年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 1027
3. 書名 モンゴル人ジェノサイドに関する基礎資料11 - 加害者に対する清算(内モンゴルの文化大革命11)	

1. 著者名 中川原育子、王振芬、三谷真澄、栄新紅、朱玉麒、孟彦裕、游自勇、史睿、荻原裕敏、何亦凡、段真子、鄭何財、劉屹屹、馬駿傑、王衛平、呂媛媛、李昀、嚴世偉、陳耕、慶昭蓉	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中華書局	5. 総ページ数 701
3. 書名 絲綢之路与新疆出土文献：旅順博物館百年紀念国際学術研讨会論文集	

1. 著者名 ボルジギン・ブレンサイン	4. 発行年 2018年
2. 出版社 内モンゴル文化出版社	5. 総ページ数 150
3. 書名 20世紀前半期庫倫旗に関する日本語文献編訳（モンゴル語）	

1. 著者名 Seika Wazaki、D.X.ZIYAEVA、Q.K.RAJABOV、G'.XUJANIYAZOV、E.P.KITOV、YU.O.KAPINUS、X.E.YUNUSOVA、M.MAHMUDOV、M.C.ISAKOVA、G.AP.P.KAYUMOVA、S.R.DAVLETOV、KIMNIYAZOVA、B.TAJETDINOVA、YA.A.ABDULLAEVA、M.K.SARIBAEV、X.X.MATYaqUBOV、J.QODIROV、M.TLEUMURATOV、Z.TLEUMURATOVA、A.K.NARTAJIEV	4. 発行年 2018年
2. 出版社 カラカルバクスタン	5. 総ページ数 432
3. 書名 Ijtimoiy-gumanitar fanlarning rivojlanishining dolzarb masalalari (人文社会科学の発展に向けた緊急課題)	

1. 著者名 Seika Wazaki, Z. ISLOMOV, Sh. AKMALOV, Q. ABDURASULOVA, Sh. MAMAJONOV, S. AGZAMXODJAEV, T. ALIMARDONOV, S. BERDIKULOV, A. ZAKIROVA, B. UMIRZAKOV, M. QAHHOROVA, A. QODIROV, N. MAMATOV, M. MAMATOV, M. MIRQOSIMOVA, N. XAKIMOV, R. RUZIEVA, O. NISHONOVA, F. RAVSHANOV, M. RAVSHANOV	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ウズベキスタン国際イスラーム・アカデミー出版社	5. 総ページ数 369
3. 書名 Zamonaviy jamjiyatda innovatsion taraqqiyot va ijtimoiy-gumanitar fanlar integratsiyasi	

1. 著者名 嶋田義仁, 金子務, 伊東俊太郎, 山口義久, 三村太郎, 正木晃, 植木雅俊, 前野隆司, 安藤礼二, 荒川紘, 武富保	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 275
3. 書名 『科学と宗教』	

1. 著者名 嶋田義仁 (編著)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中部大学	5. 総ページ数 104
3. 書名 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明 第6巻	

1. 著者名 楊海英	4. 発行年 2017年
2. 出版社 文芸春秋	5. 総ページ数 240
3. 書名 「中国」という神話 習近平「偉大な中華民族」のウソ	

1. 著者名 縄田浩志、岸上伸啓、竹沢尚一郎、山田仁史、太田好信、森山工、関根久雄、沼崎一郎、山本真鳥、中生勝美、山路勝彦、佐々木史郎、西村正雄、梅崎昌裕、池谷和信、後藤明、丸山淳子、石川登、杉本星子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 はじめて学ぶ文化人類学	

1. 著者名 縄田浩志、中牧弘充、赤堀雅幸、阿久津昌三、荒井芳廣、飯田卓、池谷和信、石井研士、石橋純、伊藤敦規、伊東未来、伊藤泰信、井上まどか、今枝由郎、今中崇文、宇田川妙子、内山明子、大越公平、岡美穂子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 432
3. 書名 世界の歴文化事典	

1. 著者名 平田昌弘、岡洋樹、高倉浩樹、鹿又嘉隆、大西秀之、大石侑香	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東北大学出版会	5. 総ページ数 130
3. 書名 寒冷アジアの文化生態史	

1. 著者名 Masahiro Hirata and Svetla Rakshieva (eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Institute of Ethnology and Folklore Studies with Ethnographic Museum at he Bulgarian Academy of Sciences, Sofia,	5. 総ページ数 -
3. 書名 Pastoralism in Bulgaria, Volume 1	

1. 著者名 中山紀子、中村都、李善愛、伊藤 和子、上村 雄彦、ウー、グレース、岡田 仁子、落合 栄一郎、片岡 信之、清末愛砂、小池（相原） 晴伴、小林知子、鈴木晃志郎、妹尾裕彦、道券康充、遠井朗子、永井真理、永澤雄治、中根智子、中原ゆかり、西村謙一、楊海英	4. 発行年 2017年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 123
3. 書名 『新版国際関係論へのファーストステップ』	

1. 著者名 石山俊、荒木良一、石本雄大、遠藤聡子、遠藤仁、角野貴信、桐越仁美、神代ちひろ、柴田誠、清水貴夫、砂野唯、大門碧、田中樹、寺田匡宏、宮寄英寿、渡邊芳倫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 総合地球環境学研究所	5. 総ページ数 98
3. 書名 フィールドで出会う風と人と土 3	

1. 著者名 和崎聖日・Adham ASHIROV	4. 発行年 2018年
2. 出版社 自費製作	5. 総ページ数 -
3. 書名 ウズベキスタンの遊牧文化と現代 生活・格技・喉歌 （民族誌映画）	

1. 著者名 ボルジギン・ブサイン、竹内啓一、熊谷圭知、山本健児、秋山元秀、小野有五、熊谷圭知、中村泰三、中山修一、青山亨、秋本章弘、遠藤元、小野寺淳、武村一男、中川秀一、中山修一、野間晴雄、羽田麻美、山下清海	4. 発行年 2017年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 2323
3. 書名 世界地名大辞典2	

1. 著者名 中村亮、石本雄大、田中樹、宮崎英寿、柴田誠、伊藤千尋、手代木功基、ムニアンディ・ジェガディーサン、砂野唯、寺田匡宏	4. 発行年 2017年
2. 出版社 総合地球環境科学研究所	5. 総ページ数 113
3. 書名 フィールドで出会う風と人と土 2	

1. 著者名 飯田卓、中村亮、小谷竜介、関 雄二、竹中宏子、塩路有子、橋本裕之、門田岳久、河合洋尚、吉田憲司、齋藤玲子、吉田ゆか子、野林厚志	4. 発行年 2017年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 376
3. 書名 文明史のなかの文化遺産	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	坂田 隆 (SAKATA Takashi) (00215633)	石巻専修大学・理工学部・教授 (31308)	
研究分担者	中山 紀子 (NAKAYAMA Noriko) (00288698)	中部大学・国際関係学部・教授 (33910)	
研究分担者	ボルジギン ブレンサイン (BORJIGIN Burensain) (00433235)	滋賀県立大学・人間文化学部・教授 (24201)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中川原 育子 (NAKAGAWARA Ikuko) (10262825)	名古屋大学・人文学研究科・助教 (13901)	
研究分担者	石山 俊 (ISHIYAMA Shun) (10508865)	国立民族学博物館・人類文明誌研究部・プロジェクト研究員 (64401)	
研究分担者	和崎 聖日 (WAZAKI Seika) (10648794)	中部大学・人文学部・講師 (33910)	
研究分担者	兒玉 香菜子(児玉香菜子) (KODAMA Kanako) (20465933)	千葉大学・大学院人文科学研究院・准教授 (12501)	
研究分担者	平田 昌弘 (HIRATA Masahiro) (30396337)	帯広畜産大学・畜産学部・教授 (10105)	
研究分担者	縄田 浩志 (NAWATA Hiroshi) (30397848)	秋田大学・国際資源学研究科・教授 (11401)	
研究分担者	大野 旭(楊海英) (OHNO Akira, YANG Haiying) (40278651)	静岡大学・人文社会科学部・教授 (13801)	
研究分担者	中村 亮 (NAKAMURA Ryo) (40508868)	福岡大学・人文学部・准教授 (37111)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	Sacko Oussouby (SACKO Oussouby) (70340510)	京都精華大学・人文学部・教授 (34317)	
研究分担者	古澤 礼太 (FURUSAWA Reita) (70454379)	中部大学・中部高等学術研究所・准教授 (33910)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明第3回国際シンポジウム「一帯一路One Belt, One Road Initiative」アフロ・ユーラシア文明論から考える	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The 9th International Association of Educating Cities (IAEC) Asia-Pacific Regional Network Meeting	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の近代動態国際シンポジウム「アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の文化財とその保護 - Alain Diop ICOMOS副会長講演」	開催年 2019年～2019年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
マリ	ICOMOS	Universite de Bamako		
ウズベキスタン	ウズベキスタン共和国科学アカデミー歴史研究所			
サウジアラビア	National Museum			
中国	国際媽祖研究シンポジウム	呼和浩特民族学院	中央民族大学	他5機関
アルジェリア	Universite de Constantine 3	Ecole normal superieur de Alger		
フランス	EHESS	Musee d'Archeologie Nationale		
ドイツ	Technical University Berlin,	Bauhaus University Weimar	University of the Arts Berlin	
モーリタニア	Universite de Nouakchott	Musee Touezekt		
スーダン	紅海大学			

共同研究相手国	相手方研究機関			
ポーランド	Jagiellonian University			
ブルガリア	The Instit. of Ethno and Folklore			
ガーナ	Manhyia Palace Museum			